

## [ワーク]

「主体的・対話的で深い学び」を基に日頃の保育を振り返ろう

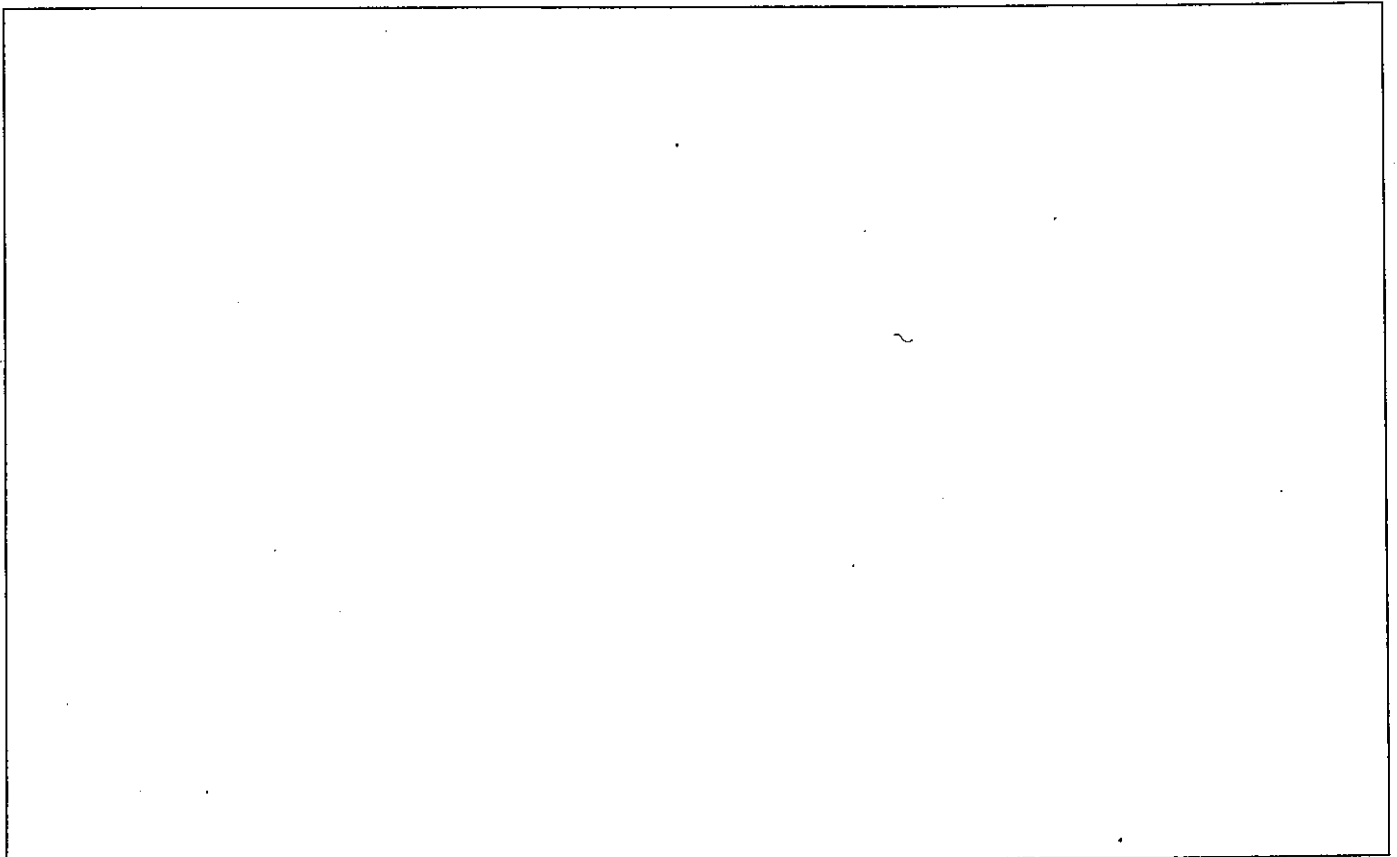
目的：講義を聴いた感想を述べ合いながら、日頃の保育を振り返る。  
子どもたちの遊びについて、日頃意識していること、  
難しいと感じたこと、改善したいと思うことを率直に話し合う。

準備：5～6人のグループになる。

進行役を1名決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A3用紙1枚（A4用紙2枚でも可）を用意する。



個人で書き出し	3分
出し合い・語り合い	12分

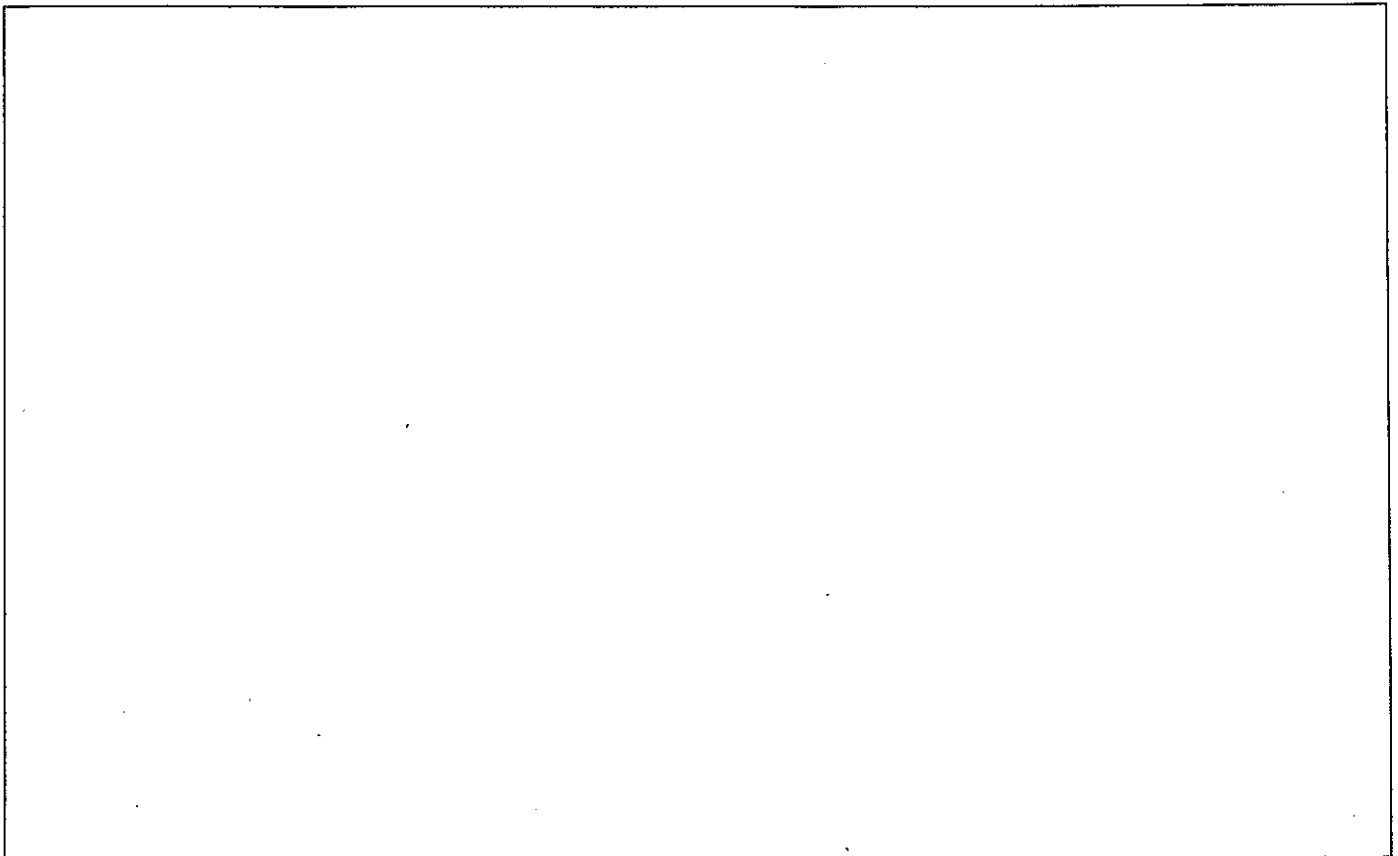
## 進め方

- ①各自、講義を聴いた感想を付箋に書く。(1枚に1つ)
- ②1人1枚ずつ、A3用紙に付箋を貼り出しながら発表する。  
他の発表者と似ているものは、近くに貼る。
- ③進行役のリードで、出された付箋を分類しながらまとめる。  
分類は、例えば「意識していること」「改善したいこと」など。
- ④すべてが出そろったら、出されたものについて話し合う。

ポイント：一人ひとりの考えを尊重し合う。

進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。

© 2016 Hoiku-design inst



## [ワーク]

### 事例から「環境を通して行う保育」について考えよう

目的：保育者が子どもの姿に「どのように関わるか」を考えることを通して、「環境を通して行う保育」について理解を深める。

準備：5～6人のグループになる。

進行役を1人決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A4用紙1枚を用意する。

© 2016 Gakken-shoin, Inc.

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for students to write their thoughts or observations during the activity.

事例：子どもたちが、色水遊びに興味を持ち始めた。

個人で書き出し 2分  
出し合い・話し合い 10分

#### 進め方

- ①グループ内で、対象となる年齢を決める。
- ②事例のような場面で、①「どのような子どもの姿が見られるか」について、先ほどの色水の事例を参考に想像して、各自付箋に書いてみる。
- ③①の姿をA4用紙に貼り出し、意見を共有し、その中で話しやすい姿を選ぶ。
- ④③で選んだ子どもの姿を基に、  
②「その姿に対してどのようなことを意図するか（ねらい）」について、話し合う。
- ⑤②の意図をふまえ、③「どのようにかわるか」、「環境をどのように工夫するか」について、話し合う。

ポイント：一人ひとりの考えを尊重し合う。

進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。

合っているかどうかにとらわれず、想像力を膨らませて、自由に話し合う。

© 2016 Hopu-Design-art

# ワーク：3歳以上児の日常の姿を 5つの領域でのぞいてみよう

目的：様々な人の意見を聞きながら、子どもたちの姿を改めて5つの領域でのぞいてみる。

準備：5～6人のグループになる。

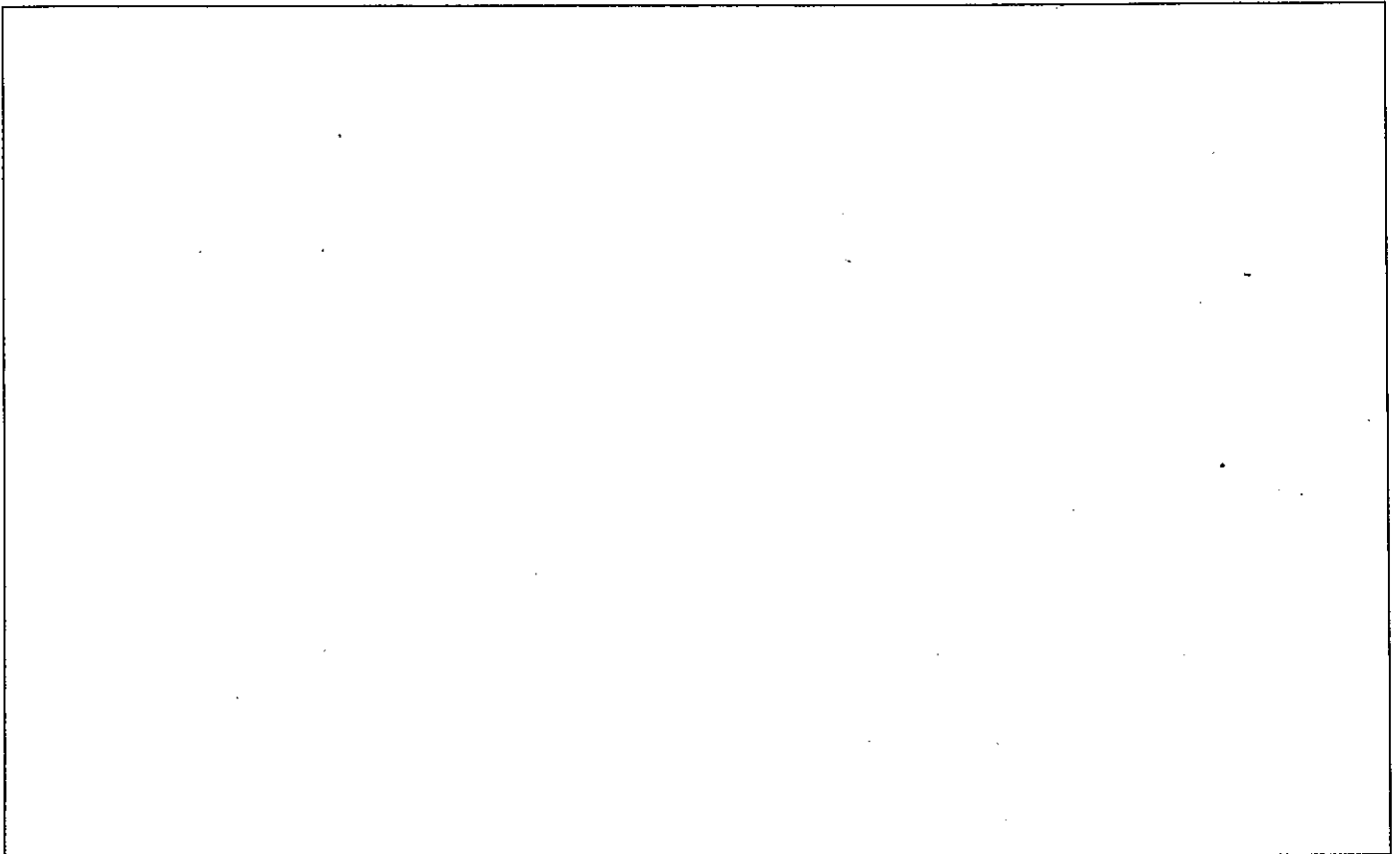
進行役を1人決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A3用紙に印刷したワークシートを1枚配布する。

(A3用紙に印刷できない場合は、大きい紙に書くなど、工夫する。)

© 2016 Heiku-design inst



## 進め方

個人で書き出し	3分
出し合い・語り合い	12分

### ①〇〇を真似して作ろうとしている

〇〇と考えが食い違い困惑している

〇〇しようとして〇〇を用意する等

具体的な子どもの姿を思い出して、付箋に書き出してみる。

### ②書き出したものを、1人1枚ずつ発表しながら、5領域のどこに当てはまるのかを考えて、貼り出してみる。

いくつもの領域にまたがる場合には、付箋に書き足す。

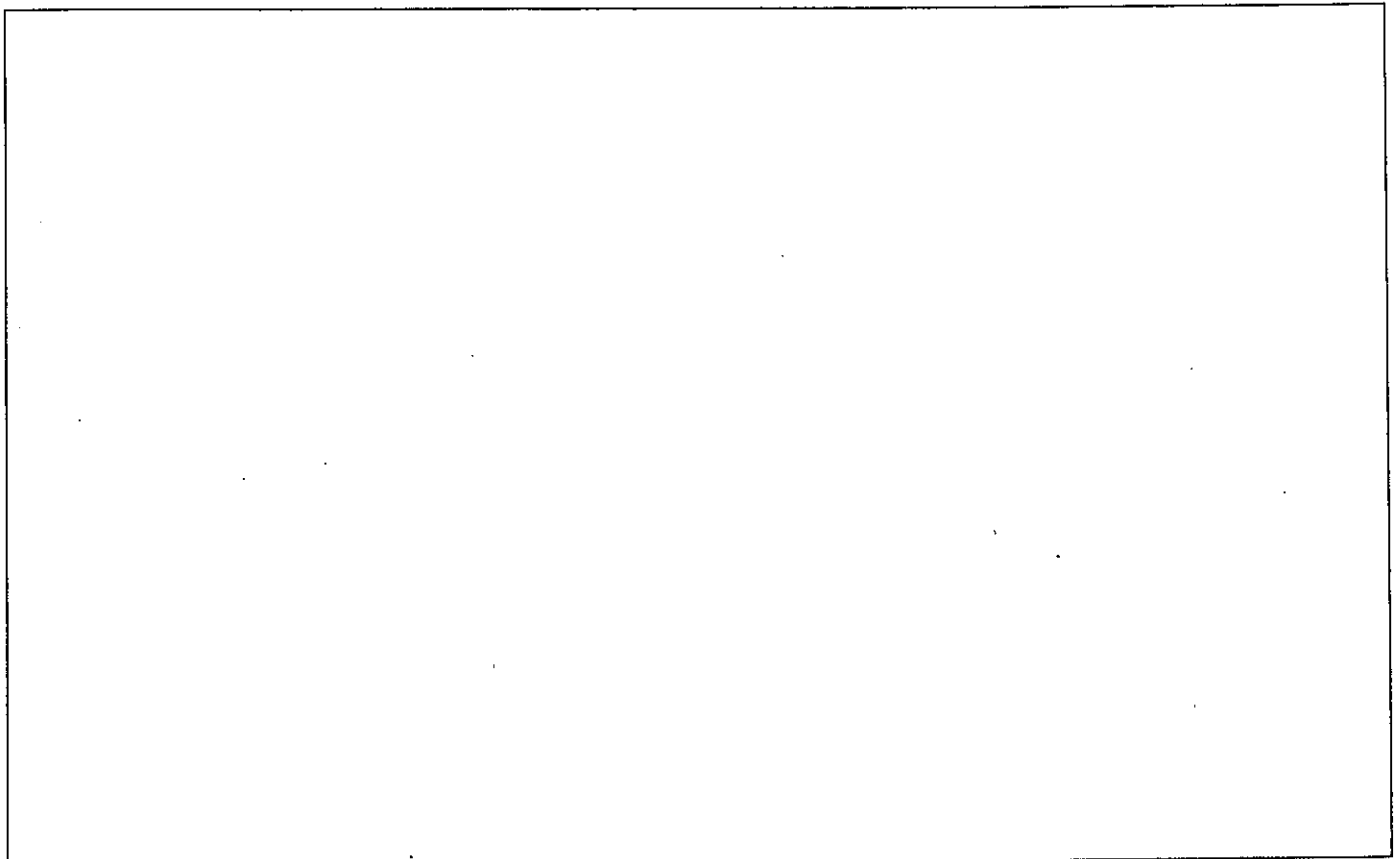
### ③すべてが出そろったら、感想を語り合う。

ポイント：どんな意見もポジティブに受け止め、応答的に語り合いを進める。

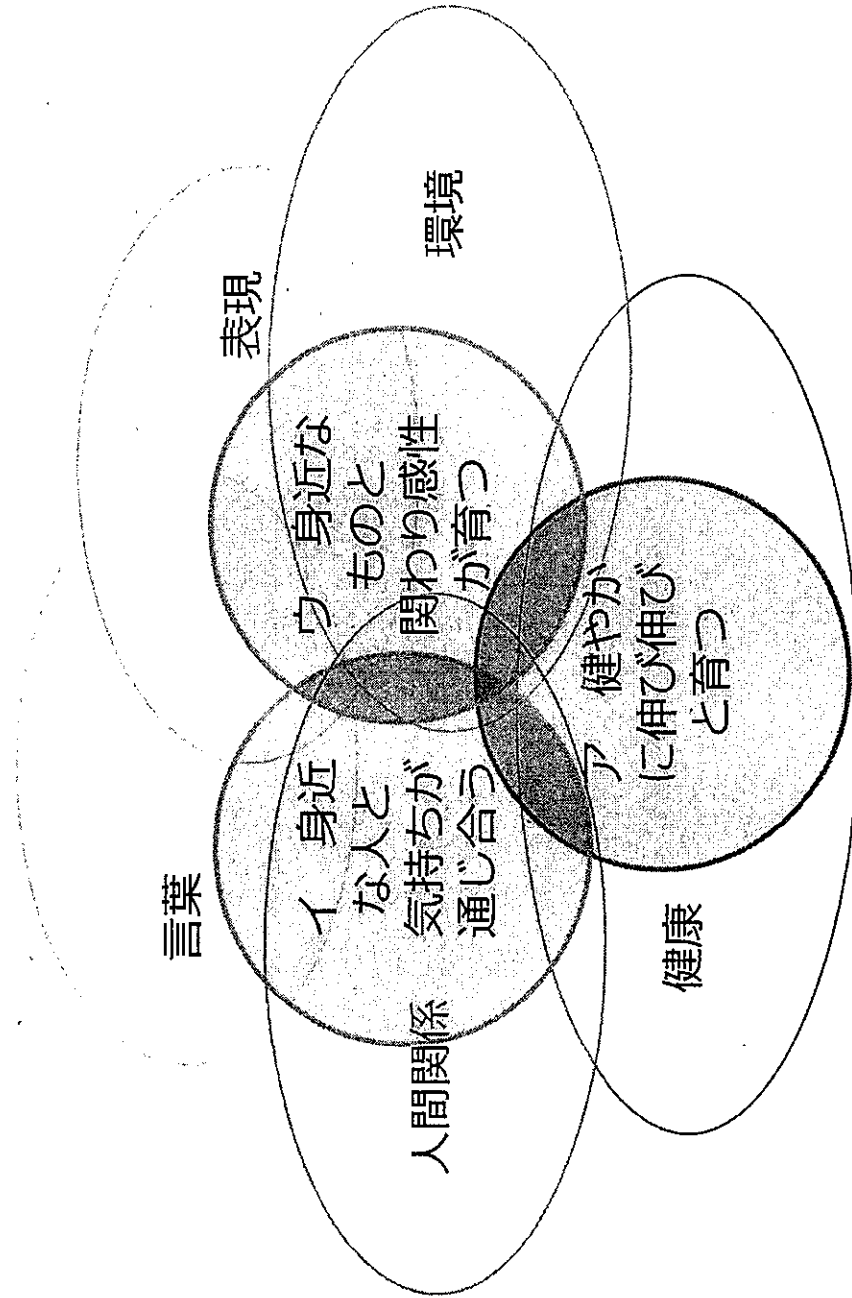
書き出すことを楽しみ、子どもの姿をたくさん思い出す。

分類する際には、「正解」にとらわれず、それぞれの捉え方や考えを活かして、視野を広げていくようにする。

© 2016 Hoiku-design trist



### 3視点・5領域 ワークシート



## ワーク：「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 について、学んだことを語り合きましょう

目的：学んだことを話し合い、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」  
について理解を深める。

準備：5～6人のグループになる。

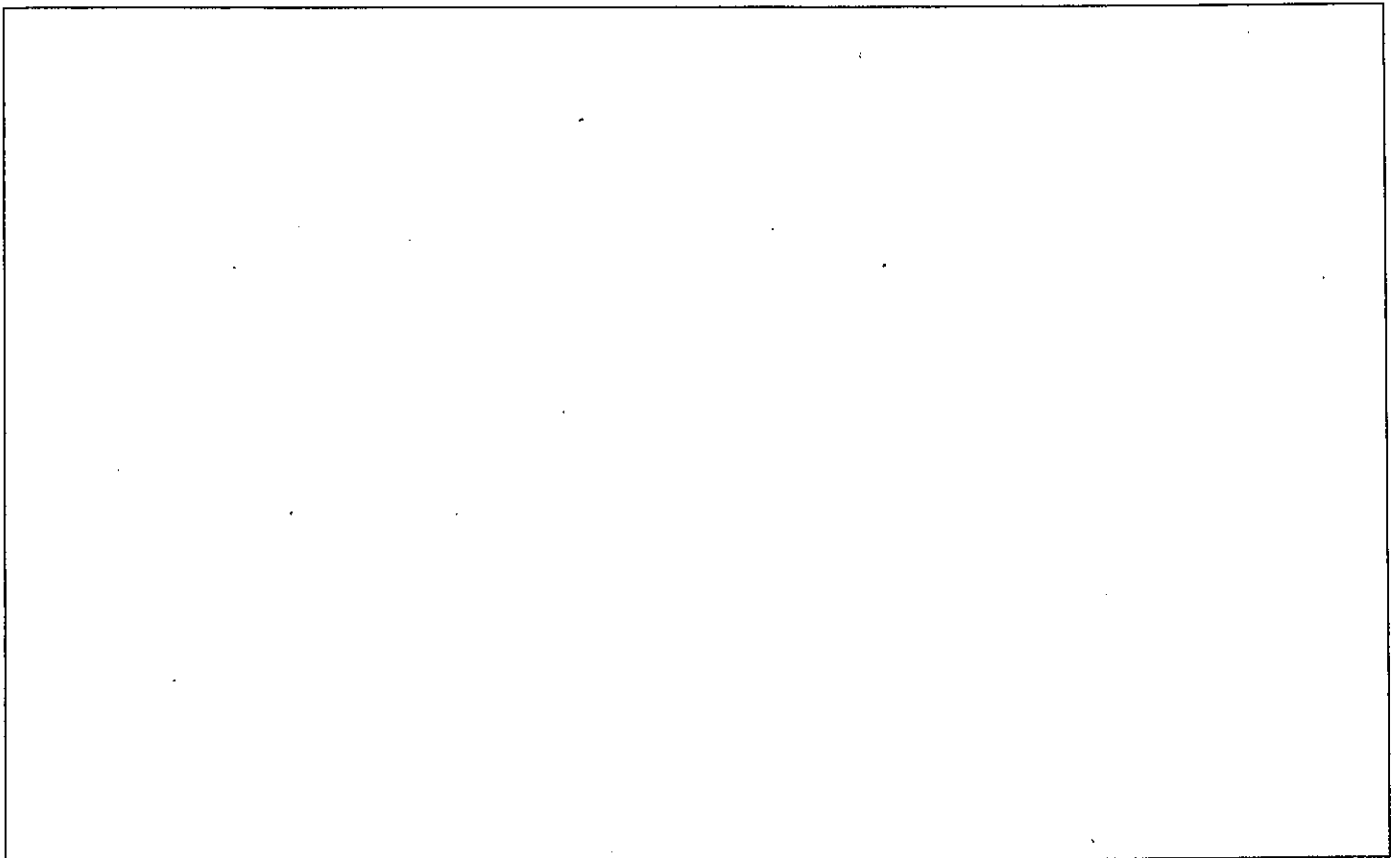
進行役を1人決める。

2cm幅の付箋を用意し、1人につき10枚程度を配布する。

各グループにつき、A3用紙を1枚配布する。

(A3用紙がない場合は、A4用紙2枚でも可。)

© 2016 Hoiku-design inst





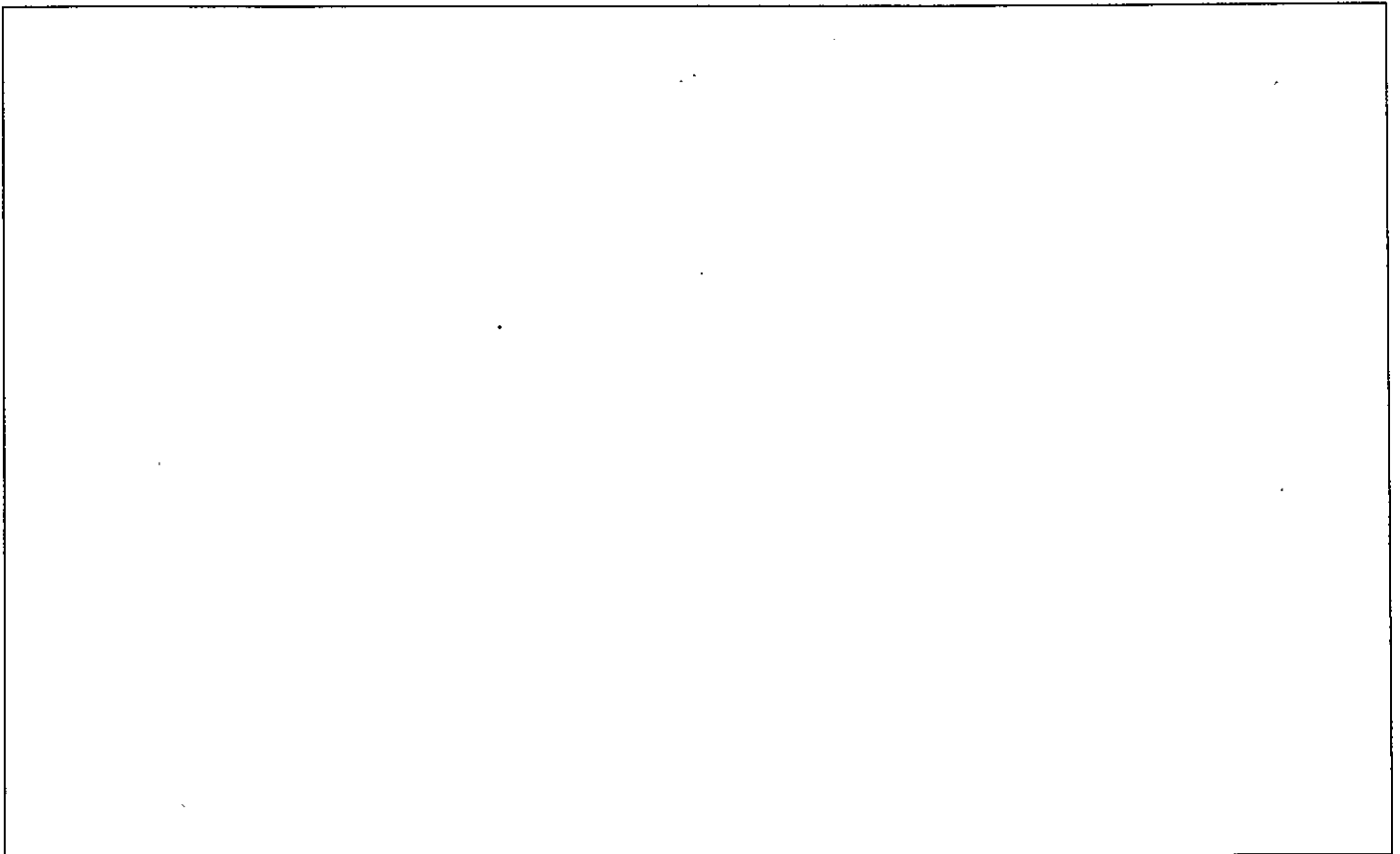
個人で書き出し	3分
出し合い・語り合い	7分

## 進め方

- ①各自、講義を聴いた感想を付箋に書く。(1枚に1つ)
- ②1人1枚ずつ、A3用紙に付箋を貼りだしながら発表する。  
他の発表者と似ているものは、近くに貼る。
- ③進行役のリードで、出された付箋を分類しながら、  
みんなで分類ごとにタイトルを付けるなどしてまとめる。
- ④すべてが出そろったら、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」  
について、みんなで語り合う。

ポイント：どんな意見もポジティブに受け止め、応答的に話し合いを進める。  
進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。

© 2016 Heiku-design inst



# [ワーク]

## 「あなたが担任保育者だとしたら…」

準備：A4用紙1枚 ペン

進め方

書き出し	3分
話し合い	7分



- ① 次の状況を想像してA4用紙に記述してください。  
「もし、あなたが担任保育者だとしたら、Kくんに対してどんなアプローチをするでしょうか？声をかけるとしたら、どんなふうに声をかけるでしょうか？」
- ② その理由も記述しましょう。
- ③ 記述したものをもとに、互いの幼児イメージについて確認しましょう。

© 2016 Hoiku no kenkyukai

# [ワーク]

ワークシート記入時間 7分  
話し合い時間 10分

## 準備

ワークシート (A4用紙)

## 進め方

- ①13の画像を見て対応の仕方を考える
- ②やめさせる必要がある度合いが高い順に並べる
- ③その理由を文字化する
- ④記入したシートをもとに話し合う

(1) あなたはその場面、どう対応するでしょうか？  
1 叱る 2 やめさせる 3 見守る 4 その他

画像番号	あなたの対応 (自分だったら、どう対応するかな)
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	

(2) 「やめさせる必要がある」という場合、その程度は並べてください

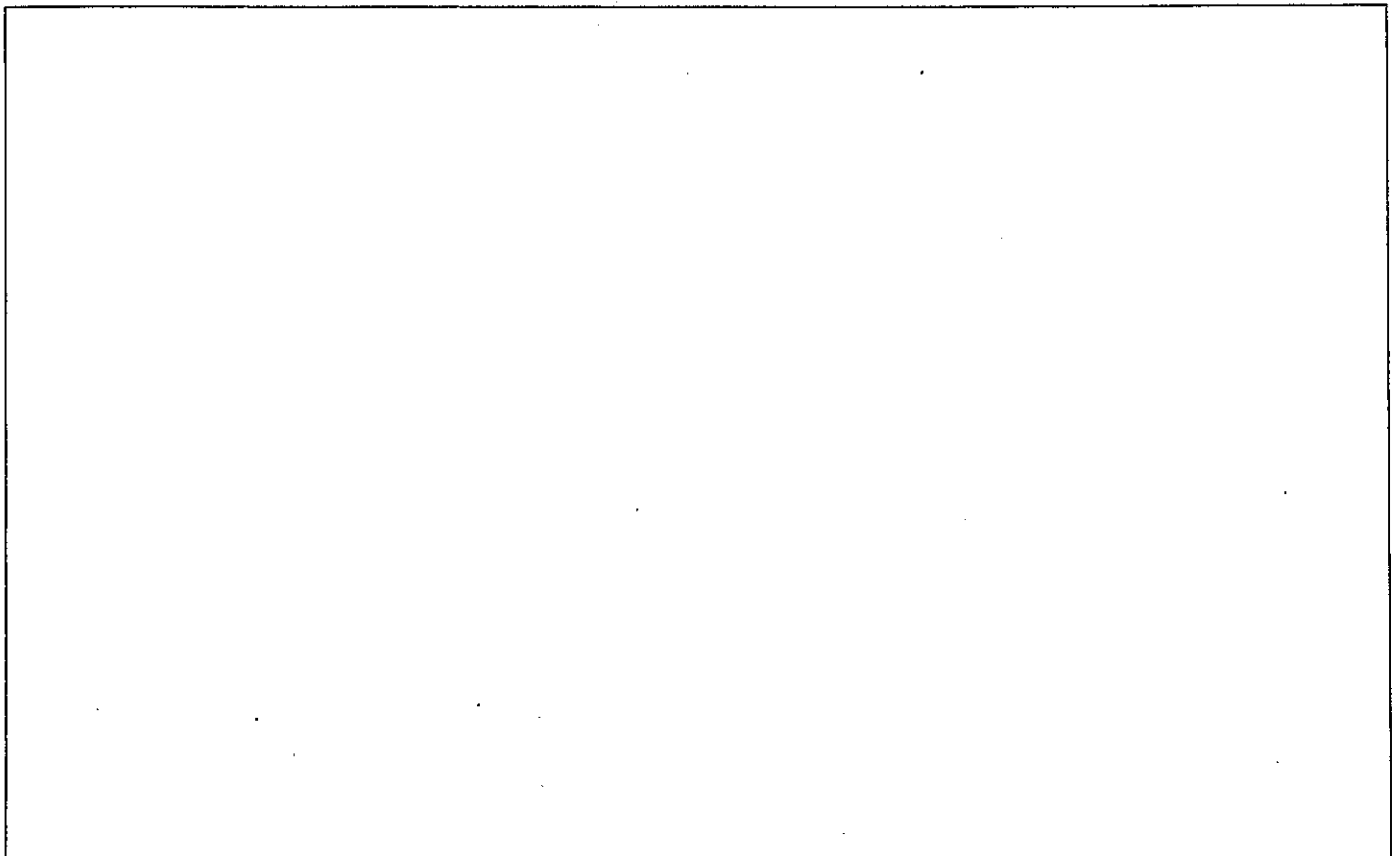
高い	～	やめさせる必要度	～	低い

その理由を文字化してください

# 13の画像

- 1) クライミングウォールをのぼっている (年少)
- 2) 上り棒をのぼっている (年中)
- 3) 壁を登っている (年長)
- 4) ウレタン積み木の上で跳ねている (年少)
- 5) 電車内の網棚の上にのぼっている (年長)
- 6) コルク積み木の上に乗っている (年少)
- 7) ウレタン積み木に登っている (年中)
- 8) 鉄棒 変なつかみ方をしている (年長)
- 9) 鉄棒に登っている (年少)
- 10) 水たまりに入ろうとしている (年少)
- 11) 鉄棒の上でまったり (年長)
- 12) 靴下をはいた状態で走っている (年中)
- 13) 柵の上に登る (年長)

© 2016 EPOCH 株式会社



「遊び」と「危険」の捉え方 ワークシート

(1) あなたはその場面で、どう対応するでしょうか？

- ①叱る ②やめさせる ③見守る ④その他

画像番号	あなたの対応。(自分だったら、こう対応するだろうな)
1	
2	
3	
4	
5 (5-2 含)	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	

(2) ①「やめさせる必要がある」という度合いが高い順に並べてください。

高い		←	やめさせる必要度		→	低い	

②その理由を文字化してください。

# [ワーク] 「つい、顔みたいに見えちゃった」という モノを探そう。

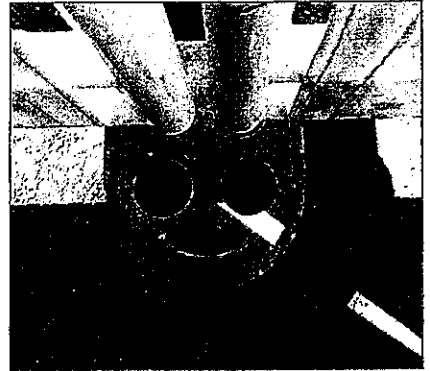
ワーク時間 20分

準備 ・デジタルカメラ ・大型テレビなど  
進め方

- ①園内・園庭などエリアを限定し、「顔に見えるモノ」を探しましょう。写真に撮ってきます。  
(全体の人数が多ければグループごとでも)
- ②それぞれの発見(どこで発見したか、その顔がどんな顔に見えるか、など)を発表します。
- ③どれが一番気に入ったか、全体で投票してもおもしろいです。

© 2016 Hoiku-design inst

## かわいい笑顔



# [ワーク] 「ままごと遊びセット」について考えよう

準備

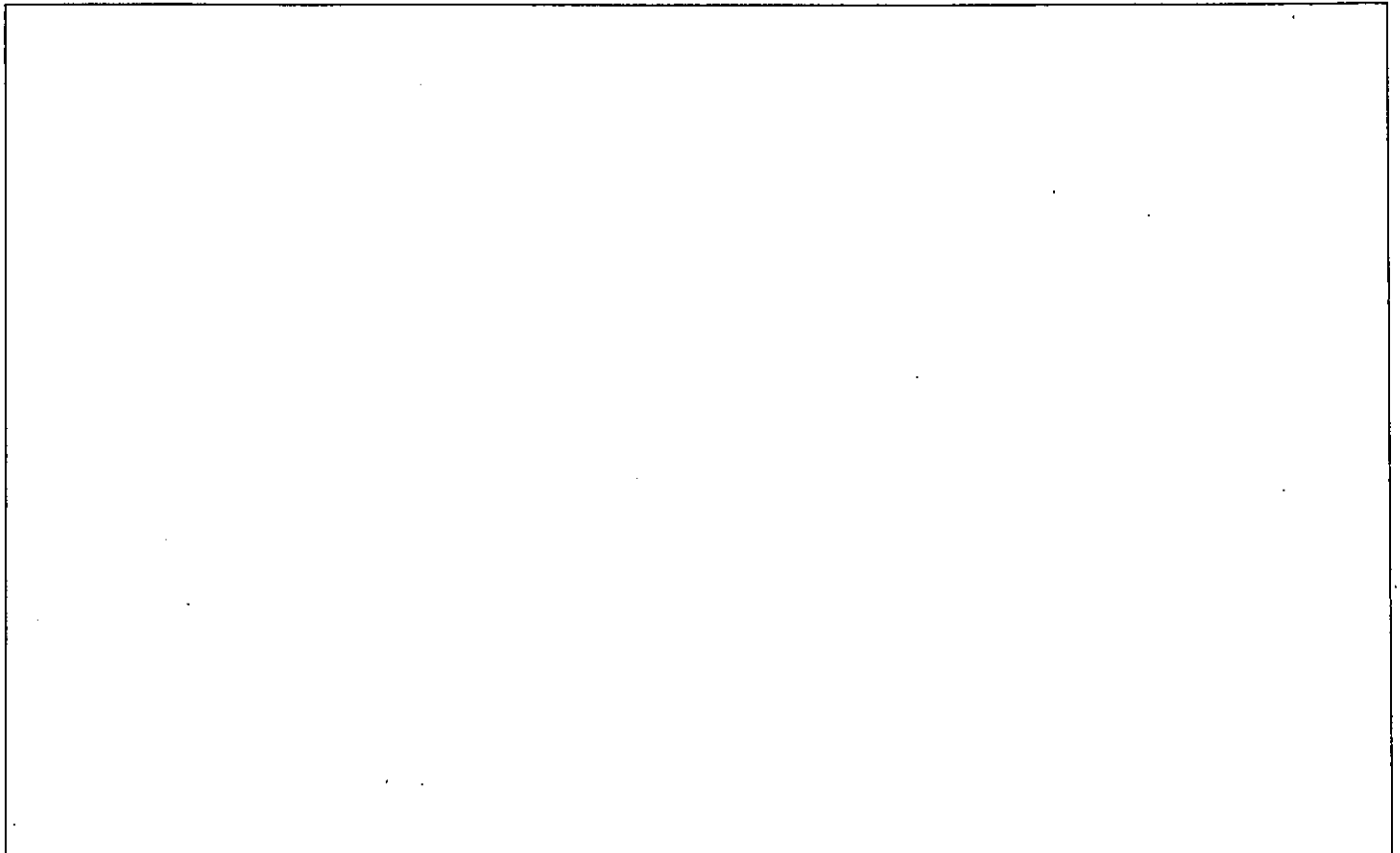
ワーク時間 30分

A4用紙 1 枚を4分割しておく。ペン。

進め方

- ①これからエピソードを見ていただきます。途中で「問い」を用意しましたので、考えたことを文字化してください。「問い」は全部で4つです。
- ②4つの「問い」に対する、あなたの仮説がまとまったら、先に進みます。
- ③あなたの園の保育室の設定について、仲間と意見交換してください。

© 2016 Hoiku-design inst



# [ワーク] 「エピソード2の、この先の保育の展開」 について語り合おう

準備 なし

ワーク時間	15分
-------	-----

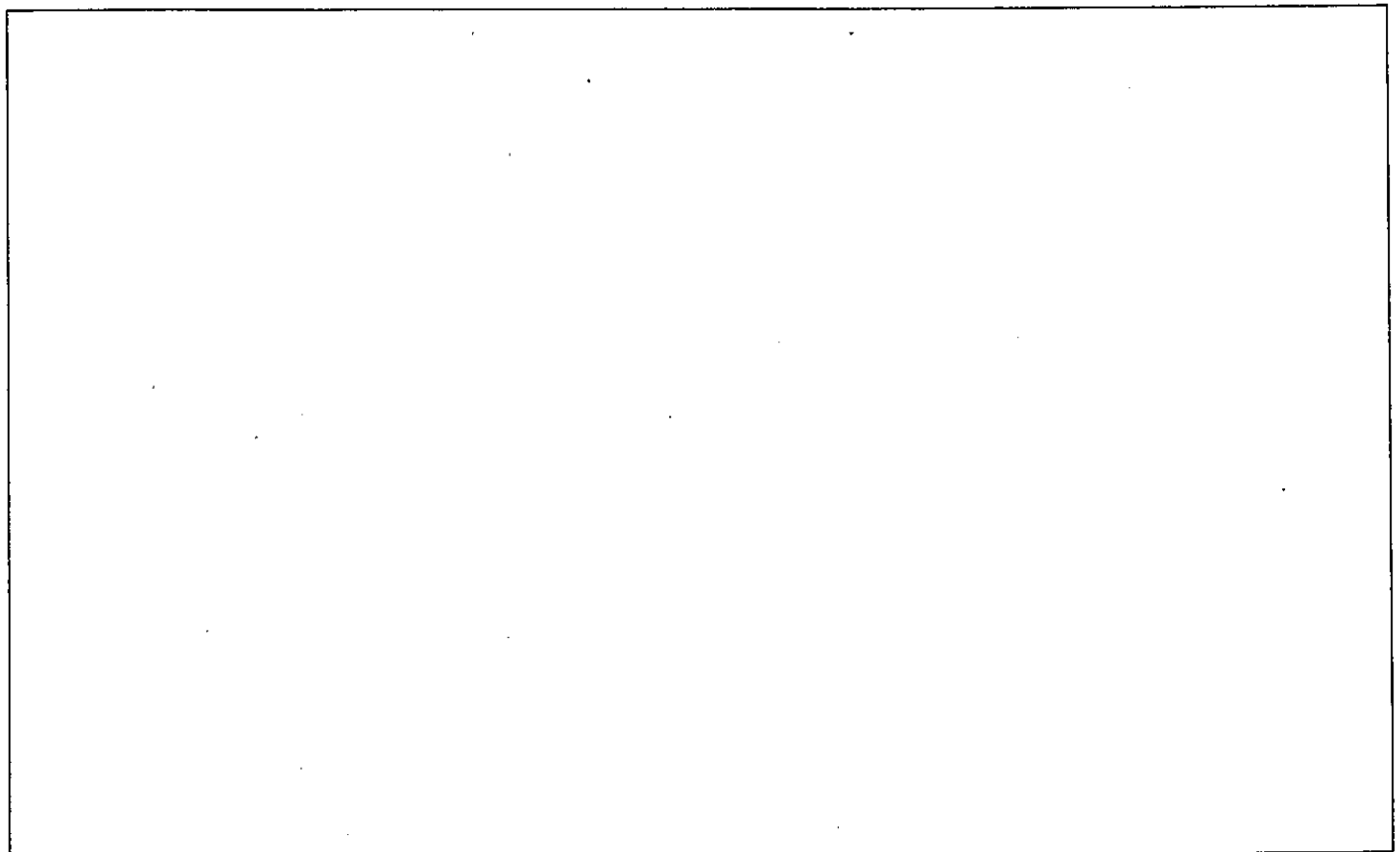
進め方

- ①エピソード2では、ふしあなを見つけたことから、その穴の中の世界についての想像が膨らんでいきました。この後の保育の展開（この続きでもよし、クラス活動につなげてよし、想像力を広げてください）を考えるとしたら、どんなことが考えられるでしょうか？

※3~4人のグループで話し合ってみましょう。

- ②人数が多い場合は、全体でアイディアの共有をしましょう。

© 2016 Hoiku-design inst





# [ワーク] 「子どもは〇〇〇」 〇〇に何をいれますか？

準備

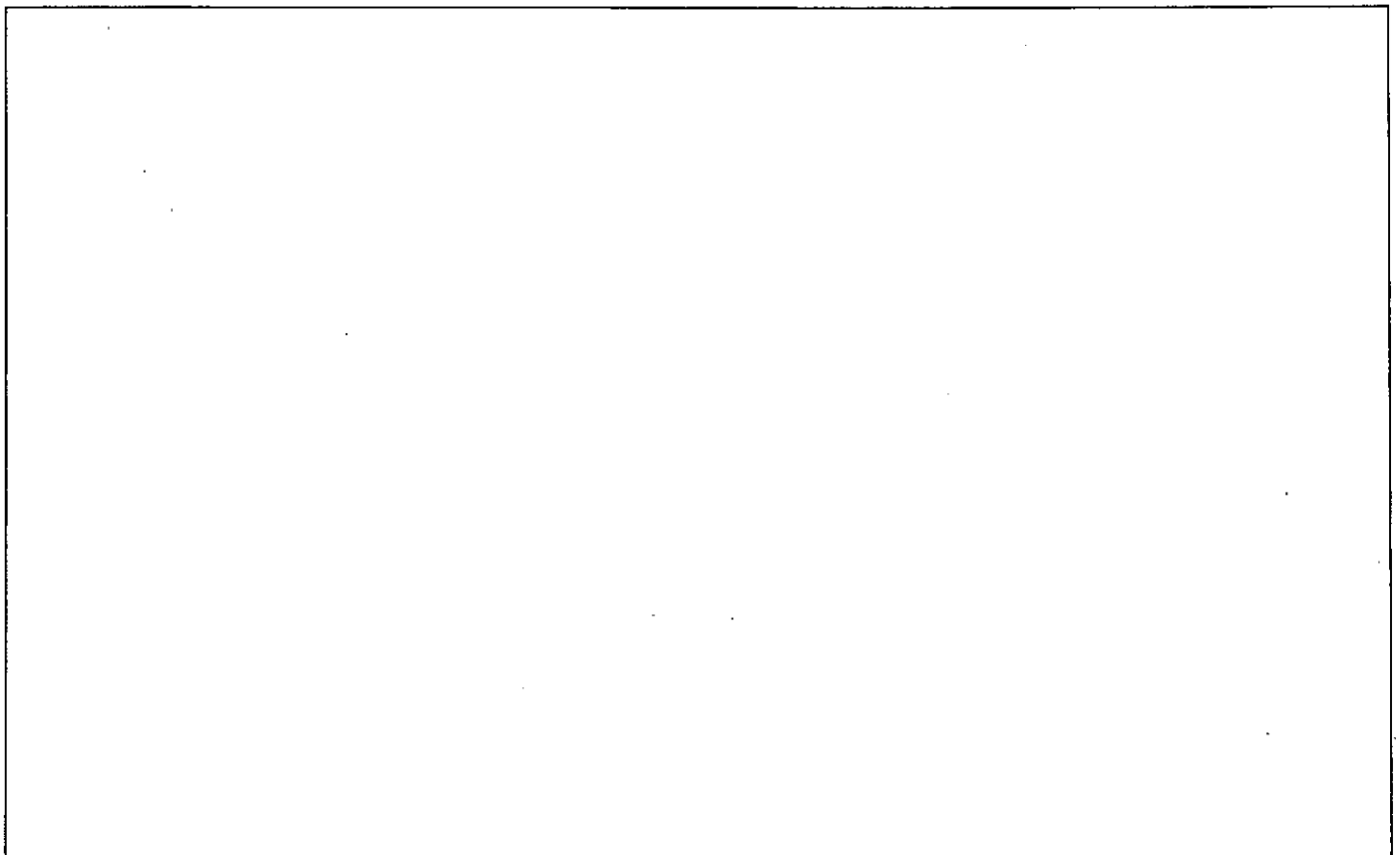
ワーク時間 15分

A3用紙1枚 付箋1人5枚程度

進め方

- ①「〇〇〇」の部分を考えて付箋に書いてみよう。
- ②A3用紙に「子どもは」と書き、互いに紹介し貼り出してみよう。
- ③貼ったものから、見えてくることについて考え合おう。

© 2016 Hoiku-design Inst



## [ワーク]

子どもたちができること、知っていることを発揮して遊びを作り出せるようにするためのポイントを考えよう！

準備

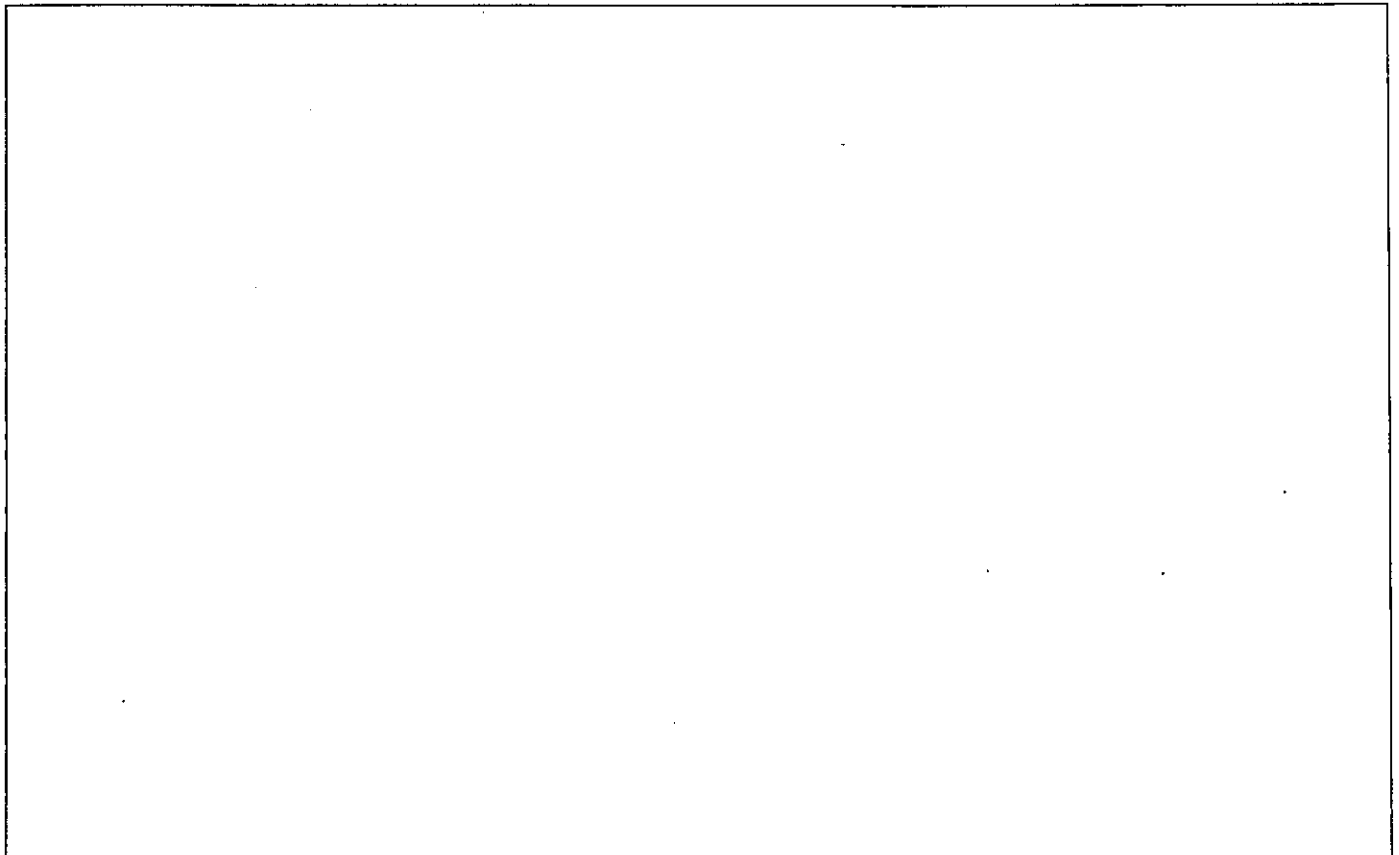
ワーク時間 15分

2cm幅の付箋、1人3枚程度 A4用紙2枚

進め方

- ①園の行事（お祭りごっこ、運動会、発表会など）を一つ決めて、その内容について、「子どもたちが力を発揮して進める」ようになるために、工夫する点を一人3つ考えて付箋に書こう。
- ②書いたことをA4用紙に紹介し合おう。
- ③付箋に書かれたことをもとに、実際にできそうなことを考え合おう。

© 2016 Hoiku-design Inst



## [ワーク]

「各年齢の特色」から見えてくる環境の在り方を  
まとめよう。

ワーク時間 10分

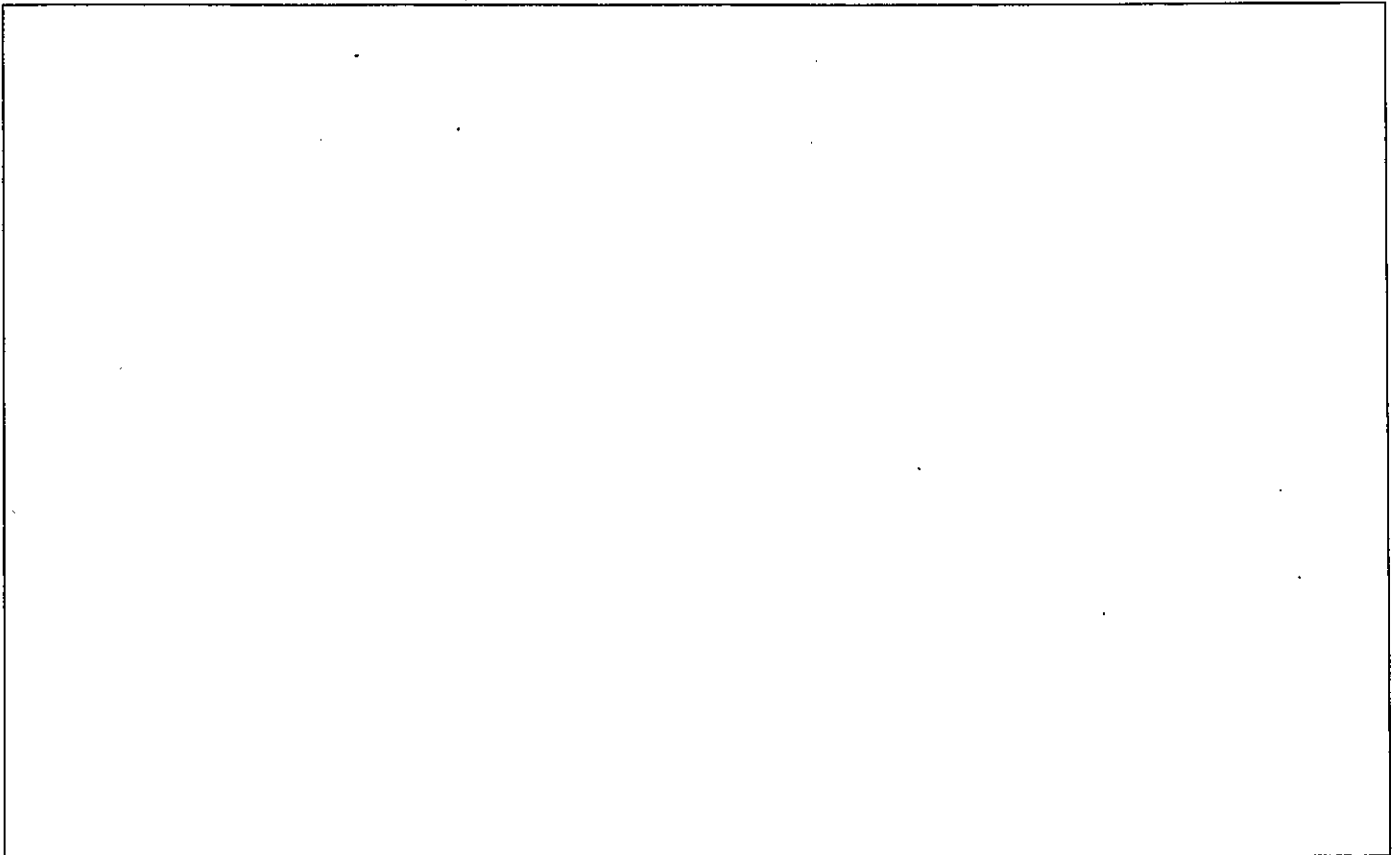
### 準備

2cm幅の付箋、1人10枚程度 グループ毎にA4用紙2枚

### 進め方

- ① 「3歳児って」「4歳児って」「5歳児って」のページの記載内容から各年齢に応じた環境の在り方を考えましょう。
- ② 付箋に書き、それをA4用紙に貼り出しましょう。
- ③ 各園にある物や環境、或いは、無いけれどあるとよいと思う物、環境について付箋に書き、もう一枚のA4用紙に貼り出していきます！

© 2016 Hoiku-design inet



## [ワーク]

# 「子どもが始めたことを大切にする」 ことについて 語り合おう

ワーク時間 10分

### 準備

2cm幅の付箋、1人5枚程度 A4用紙1枚

### 進め方

- ① 子どもがかごに入った沢山のボールを外に投げ出しています。  
いくら言ってもやめません。「子どもが始めたことを大切にする」  
という考えに立つとしたら、あなたは何をしますか？  
プランを5つ、付箋に書きましょう。
- ② プランを紹介しながらA4用紙に貼っていきます。  
似たプランを集めてみます。全体でどのくらいプランが出ましたか？
- ③ 「子どもが始めたことを大切にする」 ことについて、話し合ってみましょう。

© 2016 Hoiku-design inet

## [ワーク]

# 子どもの「やりたい！」の芽を見つけて、 その先を考えて語り合おう

準備

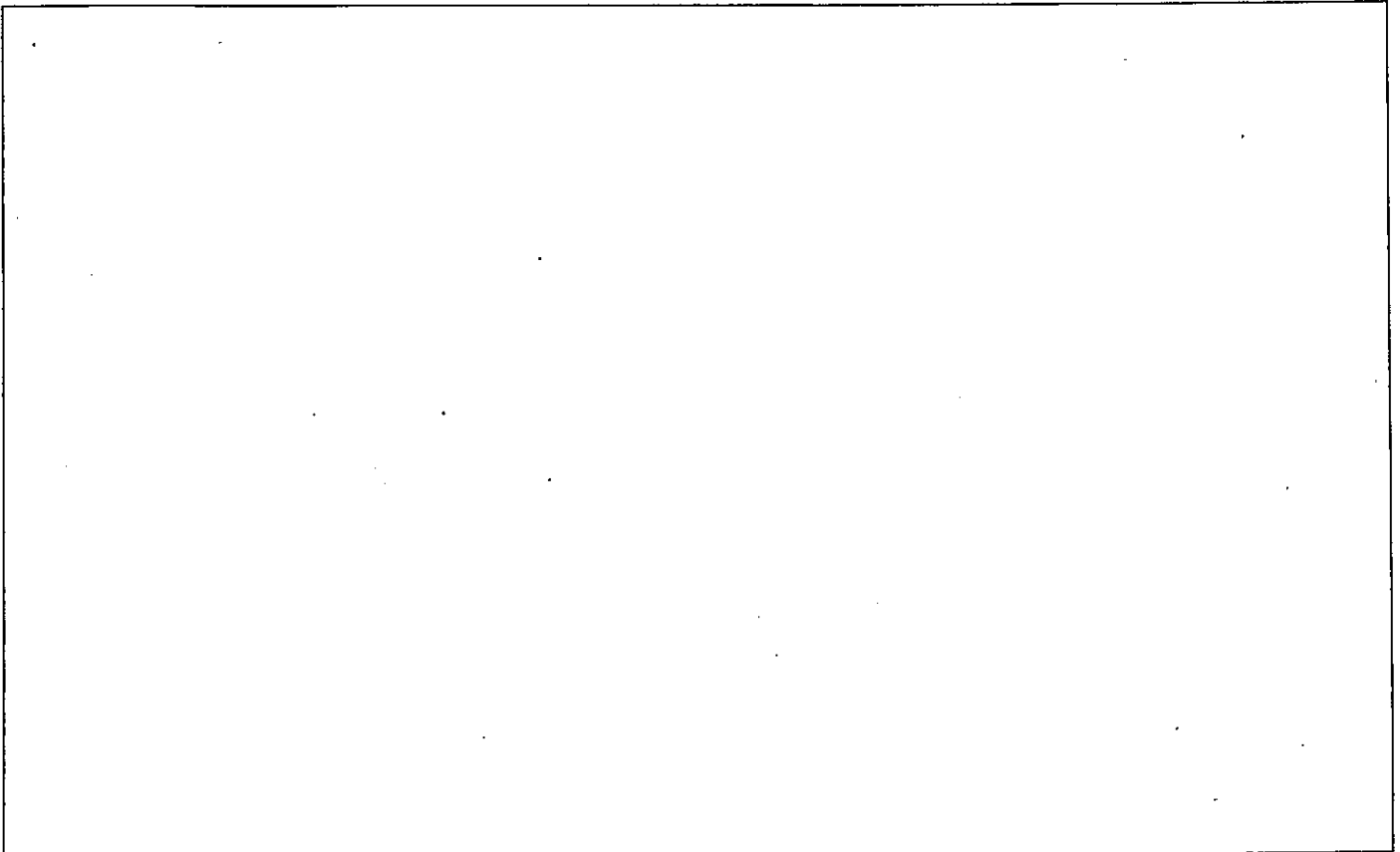
ワーク時間	10分
-------	-----

2cm幅の付箋、1人10枚程度 グループにつきA4用紙1枚

進め方

- ①今日の保育を思い返してみよう。子どもたちの「やりたい！」の芽（まだ芽のままのもの）を見つけよう。それは何？各自付箋に書いてみよう。
- ②付箋に書いたことを、A4用紙に貼り出しながら、順番に紹介しよう。
- ③「やりたい！」の中で、実現の難しそうなものを見つけて、それについて「こんな風になるといいな」「こうすればどうかな」と実現のためのアイデアを出し合おう。

© 2016 Hoiku-design inst



# [ワーク] 「全体的な計画」について考えよう

個人書き出し	3分
話し合い	7分

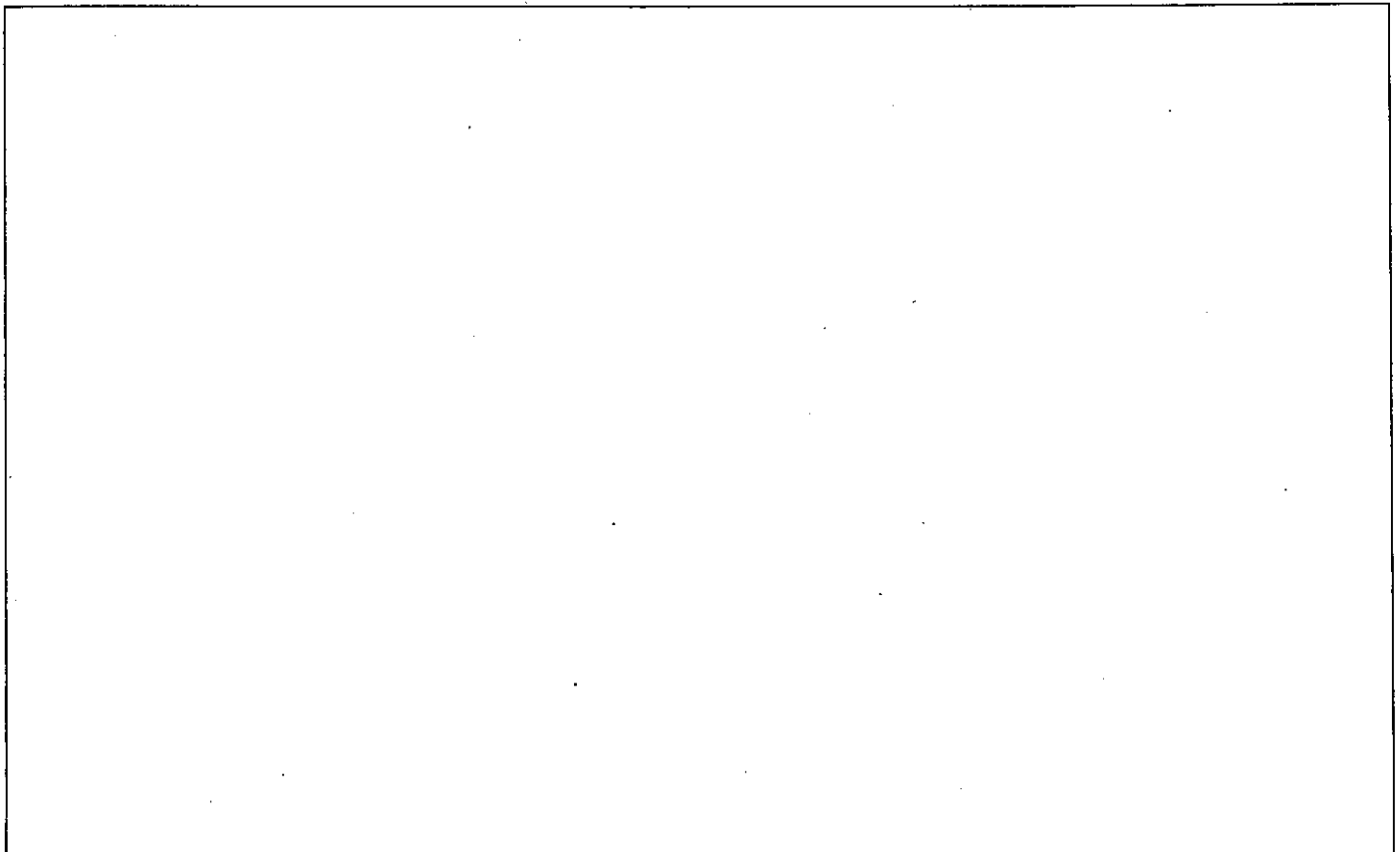
目的：全体的な計画への理解を深め、家庭や地域との連携方法を考えましょう

準備：自園の「全体的な計画」

進め方：

- ① 自園の全体的な計画をどのようにして作成しているか、各自書き出しましょう
- ② 自園の全体的な計画の特徴（創意工夫している点）について各自書き出しましょう
- ③ 全体的な計画や指導計画をどのようにして、家庭や地域と共有しているのか、その具体的な方法について各自書き出しましょう
- ④ ①～③について、共有し、話し合いましょう

© 2016 Hoiku-design inst



# [ワーク] 小学校との違いについて考えよう

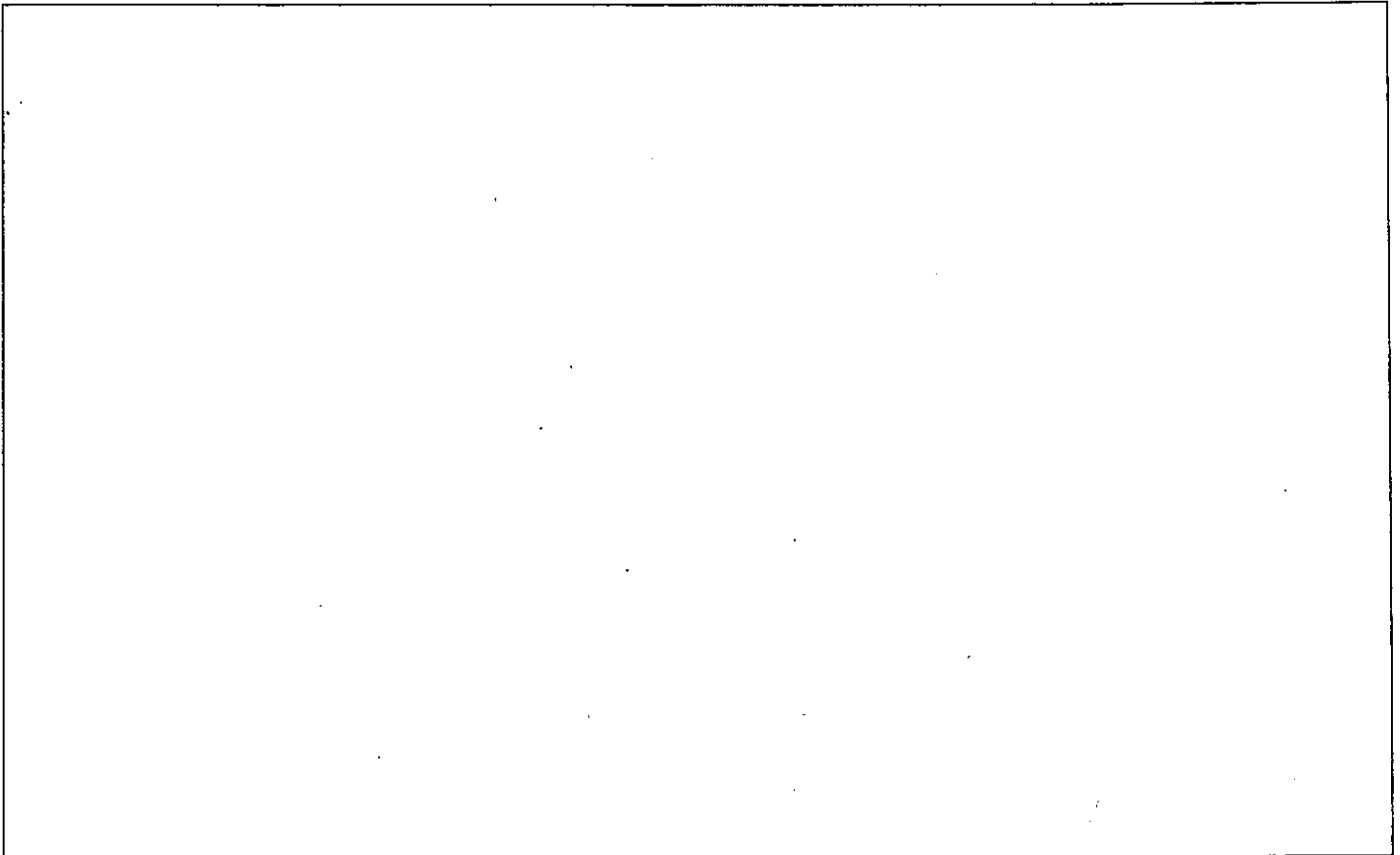
個人書き出し	3分
話し合い	7分

目的：保育の独自性を理解し、説明できるようになる

進め方：

- ① 以下の語をつかって、乳幼児教育と小学校教育の違いを書いてみましょう
  - ・教科書 ・チャイム ・一日の流れ、 ・クラスや園校庭環境、
  - ・先生と子どもの関係性、 ・評価（成績表）
- ② ①について、共有し、話し合いましょう

© 2016 Hoiku-design inst



# [ワーク] クラス環境を振り返ろう

個人書き出し	3分
話し合い	7分

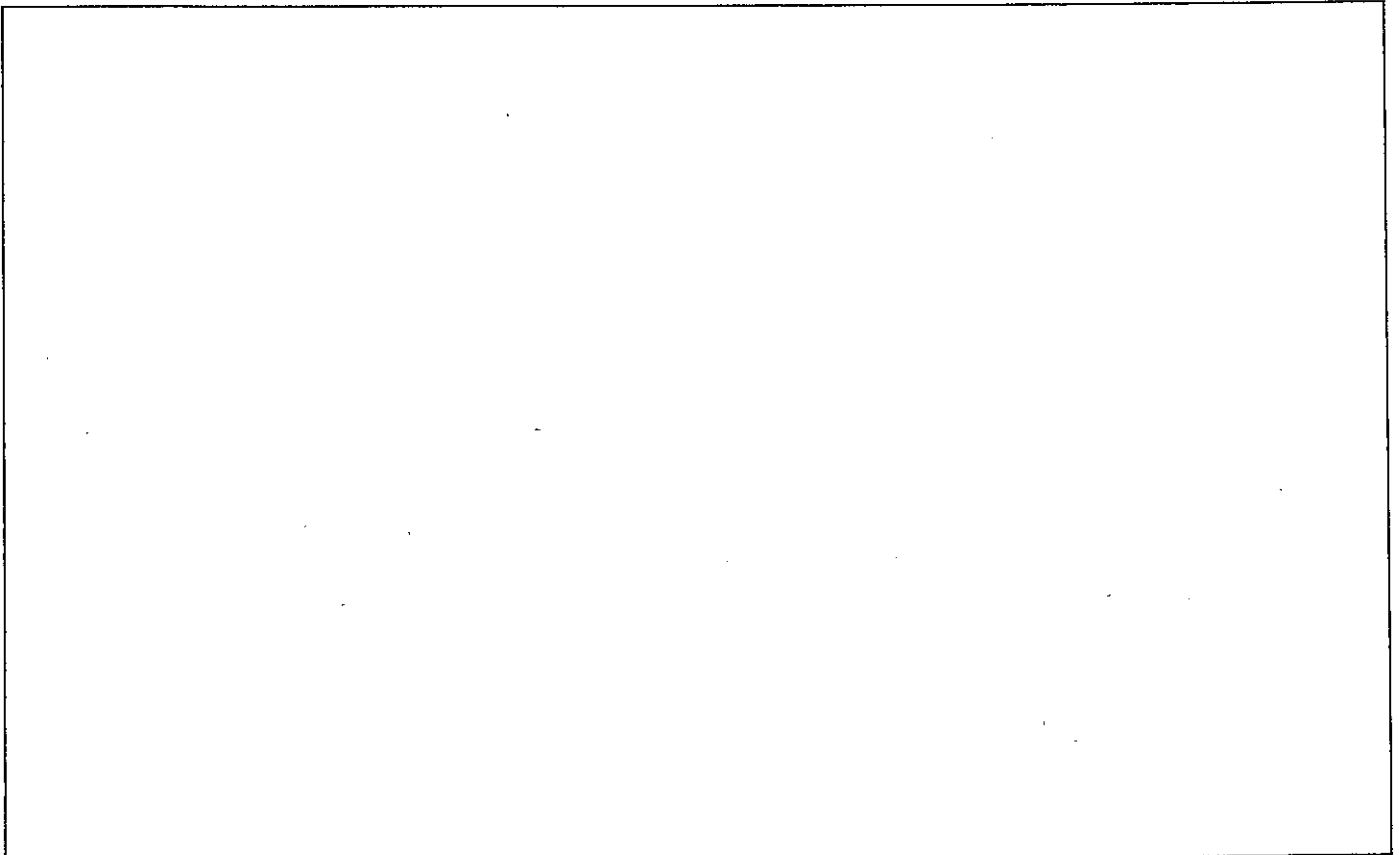
目的：クラスの環境を振り返り、子どもの姿に基づく環境構成を考えましょう

準備：クラス環境を撮影した写真、数枚（写真がない場合は思い浮かべる）

進め方：

- ① 写真をみながら、思い浮かぶ子どもの姿を書き出してみよう  
（「〇〇ちゃんが遊んでいた姿」、「〇〇君が持参したもの」、  
「〇〇ちゃんに関心を持っているもの」、「〇〇君が調べていた図鑑」等）
  
- ② 書き出した内容を共有し、以下について話し合ってみましょう
  - ・環境と子どもの発達過程との関係性
  - ・環境を通じて子どもに気づいてほしいこと、育ててほしい姿など

© 2016 Hail U-Design Inc.





# [ワーク] PDCAサイクル

個人書き出し	5分
話し合い	5分

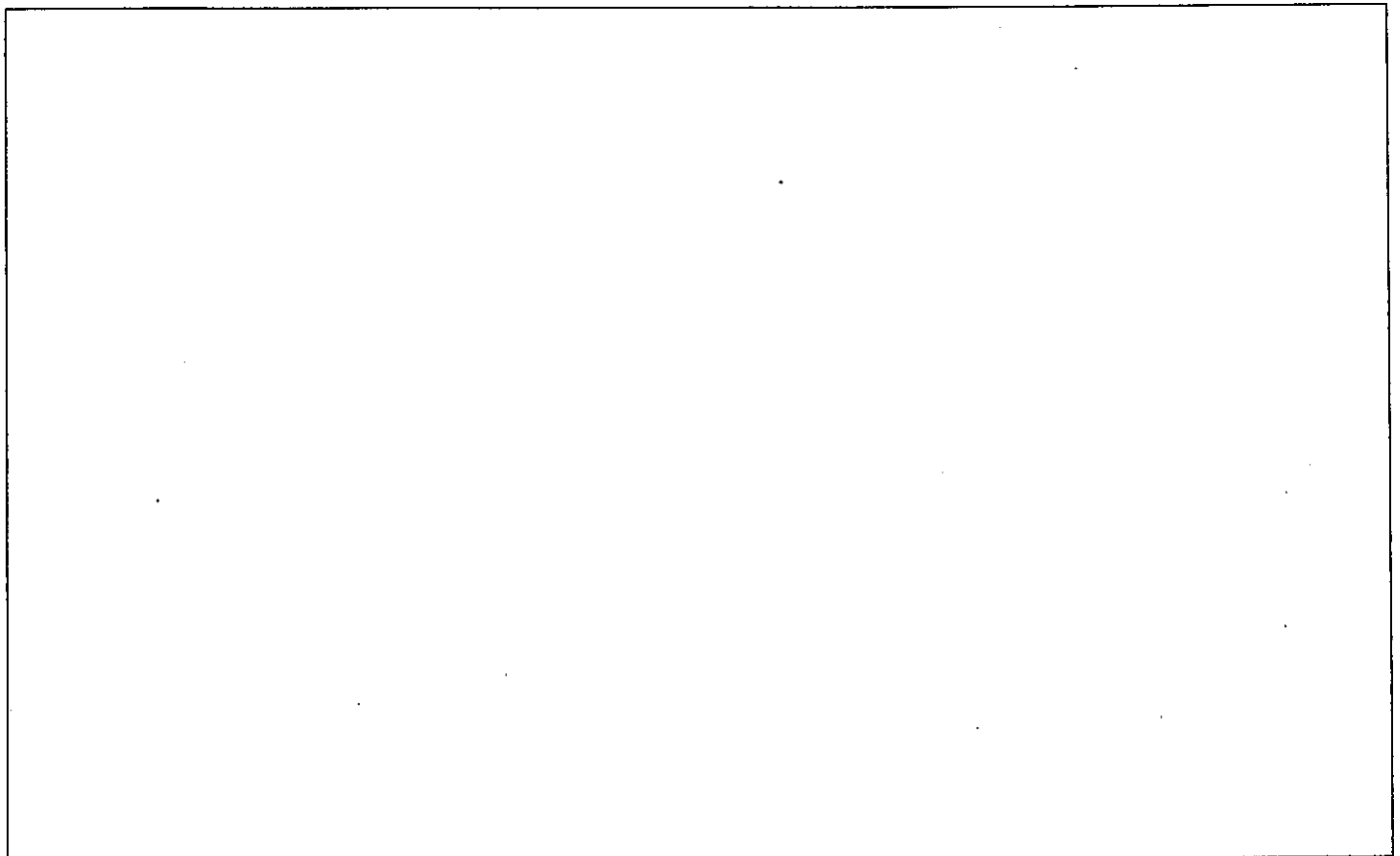
目的：PDCAサイクルを具体的に考えましょう

準備：園内研修の年次計画、等

進め方：

- ① 自園のPDCAサイクルの実際の展開状況について書き出してみましょう  
園内研修の年次計画等を参考にしましょう  
記録の頻度は？ 量は？ かける時間は？ 共有する相手は？  
確認する人は？ 個々の自己評価と、園内研修の関係は？
- ② 書き出した内容を共有してみましょう

© 2016 First Step Co., Ltd.



## [ワーク]

# 10の姿を活用して、遊びの中の 育ちや学びを可視化し伝えてみよう

話し合い 10分

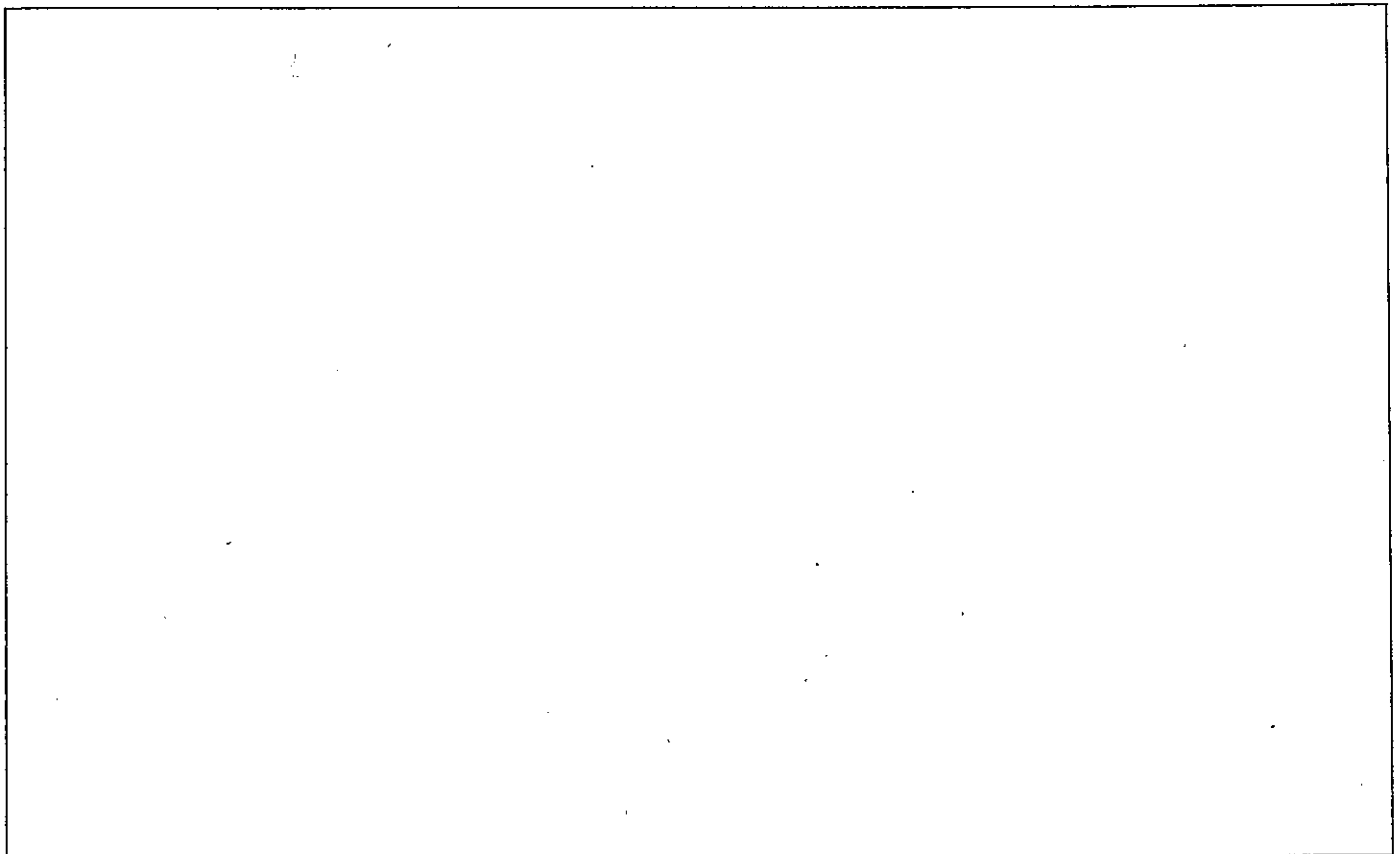
目的：10の姿を活用して、保育の可視化と発信する力をのばしましょう

準備：伝えたい子どもの育ちや学びがみられる遊び場面の写真、  
指針や要領、解説書

進め方：

- ① 写真について、説明しましょう
- ② 子どもの育ちや学びの姿について話してみましょう
- ③ 発達の視点、5領域との関係、10の姿、保育者の援助や環境構成の工夫なども考えてみましょう

© 2016 Early Childhood Center



## [ワーク1]

自園の連携・接続をステップを考えてみよう。

準備

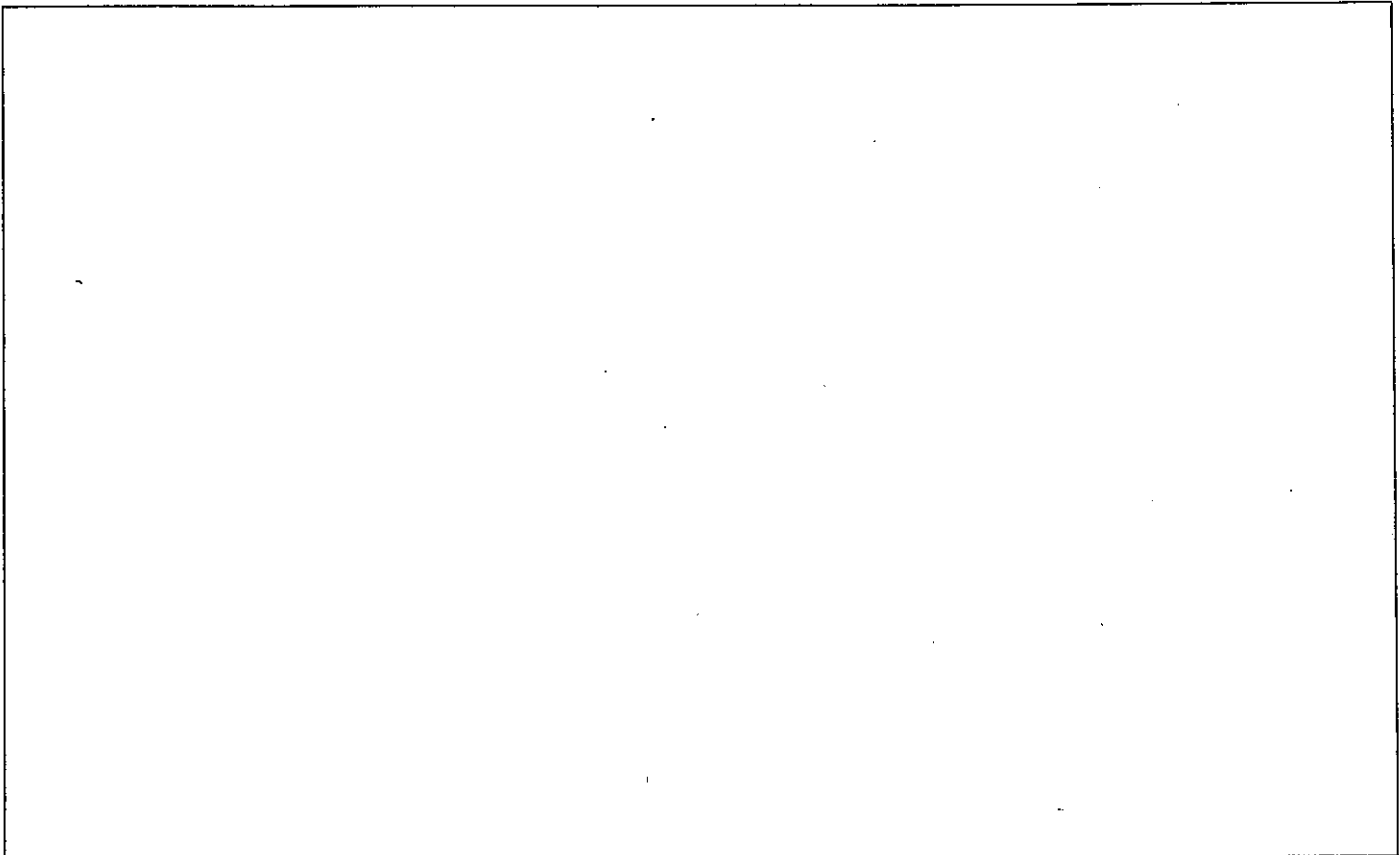
ワーク時間	3分
-------	----

A4用紙 1人1枚

進め方

- ①自園の連携・接続がどのステップなのか、考えてみよう。
- ②その理由を考えてみよう。

© 2016 Hoiku ecomics



## 連携の4つのステップ

ステップ0: 連携の予定・計画がまだ無い。

ステップ1: 連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。

ステップ2: 年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。

ステップ3: 授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている。

ステップ4: 接続を見通して編成・実施された教育課程について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

■ 進行役の方は、一度VTRを止め、  
ワークが終わったら再度進めてください

© 2016 by all rights reserved.

## [ワーク2]

# 自園の連携・接続について話し合ってみよう。

### 準備

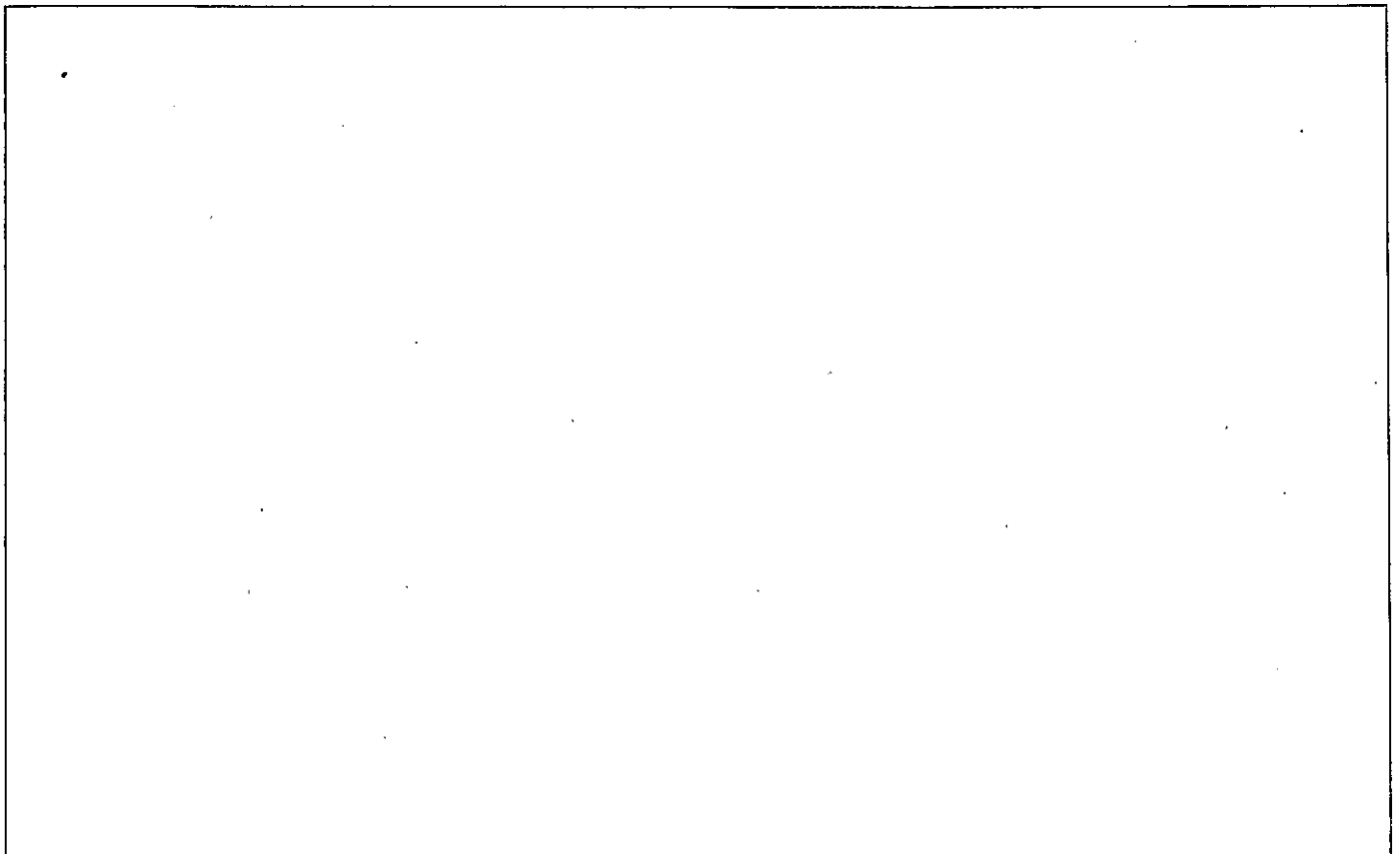
ワーク時間 10分

ワーク1で用いたA4用紙

### 進め方

- ① 3～4人のグループを作る
- ② ワーク1の結果を「全国の幼小連携・接続の取り組み状況」と比べてみよう。
- ③ グループでそれぞれの結果を見せ合って、気付いたことを話し合おう。

© 2016 Teikyū Gakkaishi



## [ワーク1]

保育者と教師の意識の違いについて考えてみよう。

準備

ワーク時間 8分

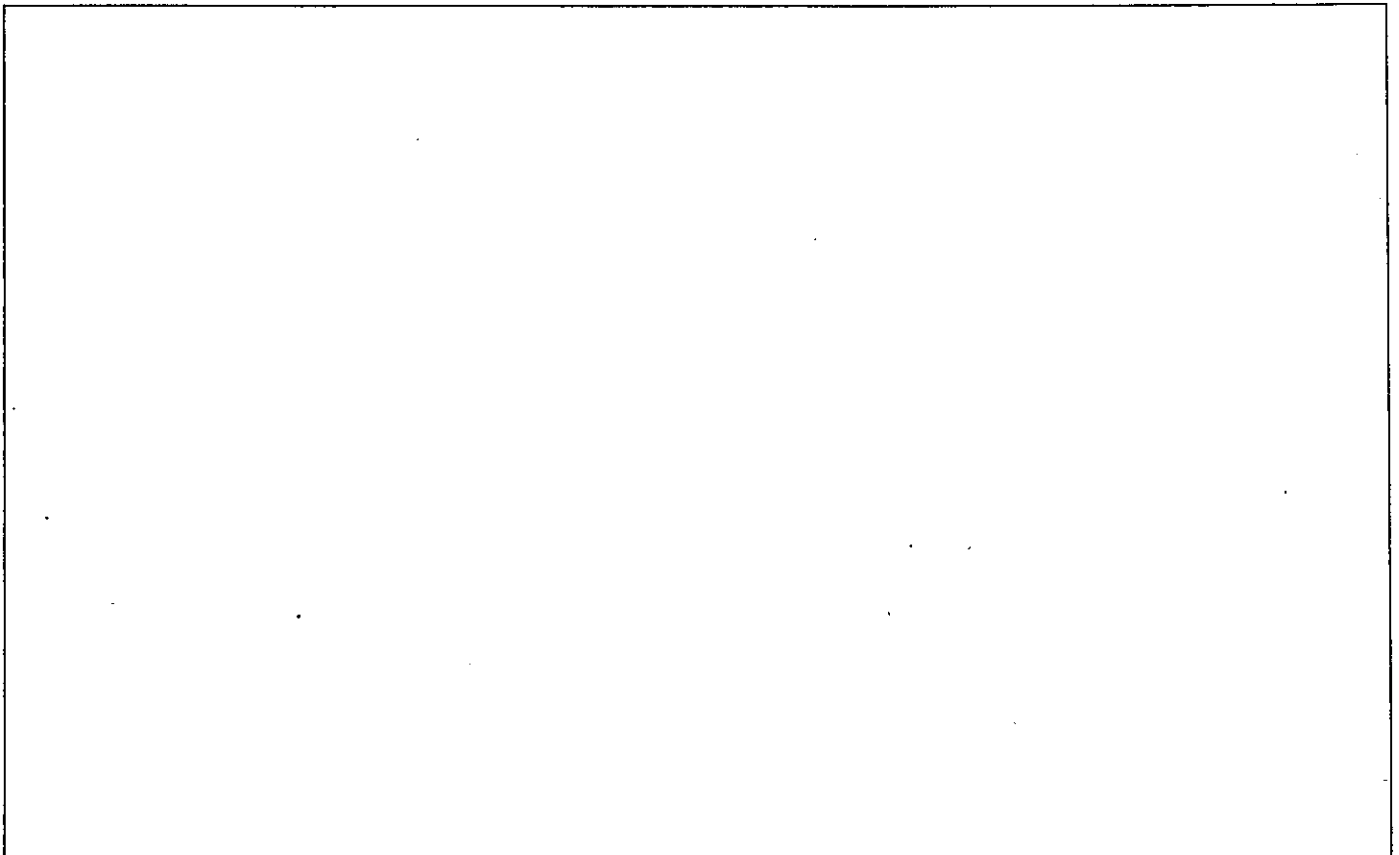
グループ毎A4用紙 1枚

2 cm幅の付箋 1人5 - 6枚程度

進め方

- ①保育を知らない人に「子ども理解」を説明するキーワードを考えて、付箋紙に書く。
- ②3 - 4人のグループを作る。
- ③それぞれの書いたキーワードを発表し、A4用紙に貼り共有する。

© 2016 Hokko daisy inc.



## [ワーク2]

# 幼児教育と小学校教育の同じところ・違うところを話し合ってみよう。

準備

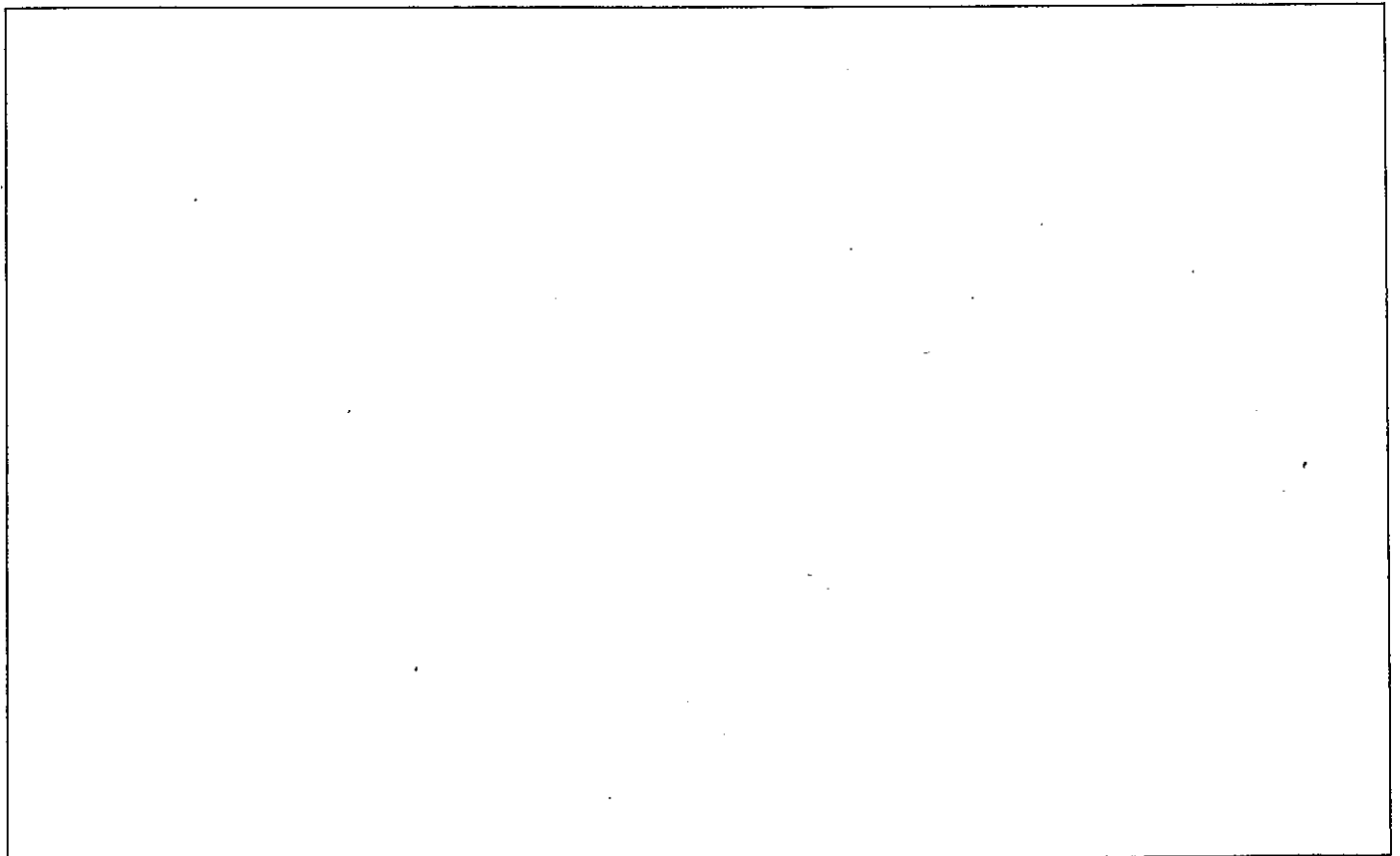
A4用紙 1人1枚

ワーク時間	10分
-------	-----

進め方

- ①幼児教育と小学校教育の同じところ・違うところを考えて書いてみよう。
- ②みんなで話し合ってみよう。

© 2016 Hokuhonsha, Inc.



# [ワーク] 交流の事例を読んで話し合ってみよう

準備

ワーク時間 15分

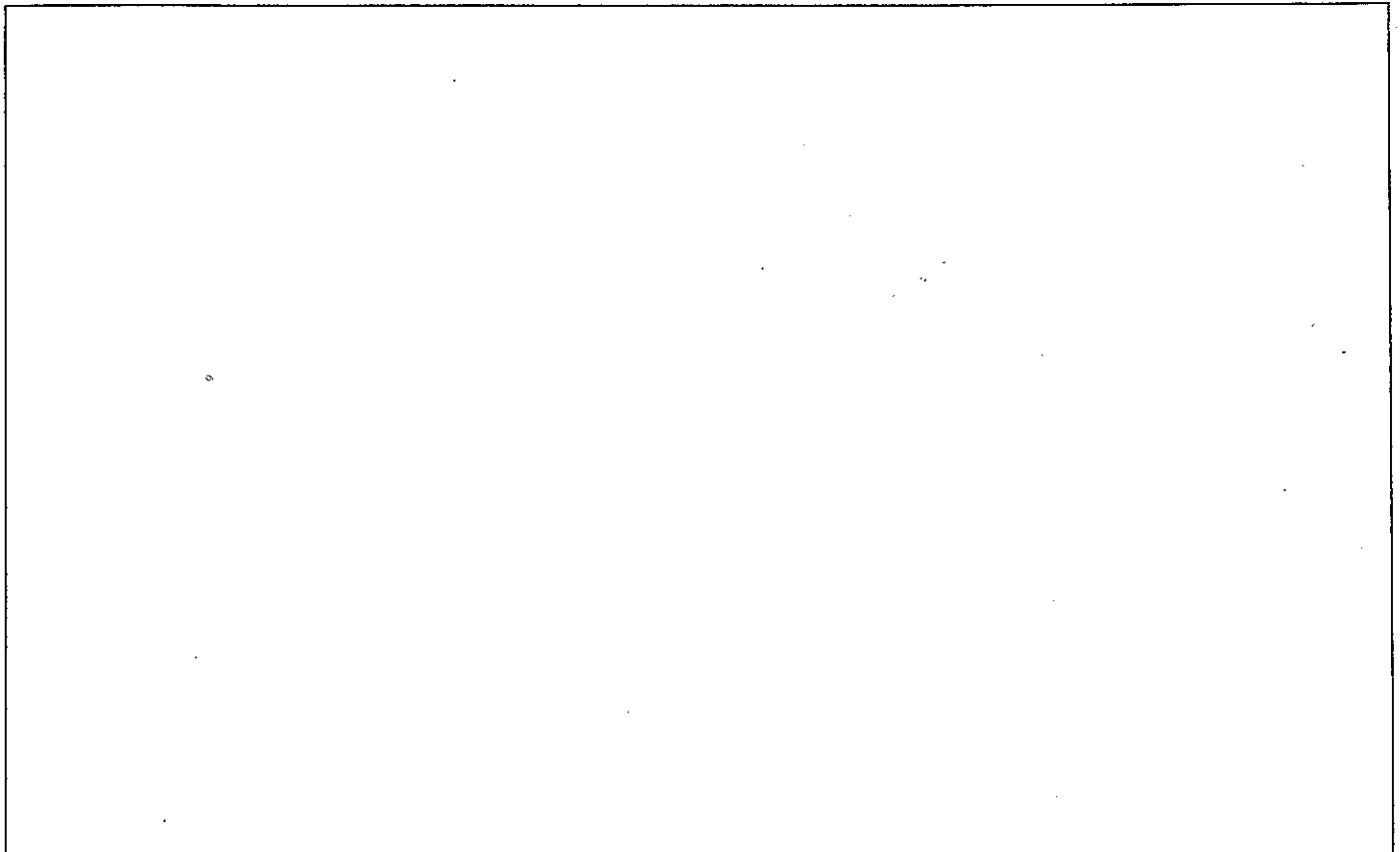
2cm幅の付箋、1人10枚程度

グループ毎A4用紙2枚（一枚にA、もう一枚にBと記載）

進め方

- ① 3～4人のグループを作る。
- ② 事例を読んで感じたこと、思ったことを話してみよう。
- ③ 交流を通して A.幼児はどのようなことを経験したか、  
また B.児童にとってはどのような経験になったかを  
付箋に書いて、A4用紙（A、B）に貼り、話し合って共有する。

© 2016 Hello deppin.net





## 【事例】 交流活動

ペアやグループになって1年生が5歳児に自分たちで考えた遊びのコーナーに連れて行ってあげる活動が行われていました。けん玉のコーナーにけいちゃんを連れて行くと、ゆうくんはけいちゃんのためにけん玉を渡し、やり方を教えてあげていました。でも、けいちゃんにやらせてあげながらも、本当はゆうくんは思い切り自分もやりたいけれど我慢してけいちゃんをみていることが目線や動きから感じられます。でも、けいちゃんは初めての経験だったのでけん玉はまだうまくはできず関心がなさそうで、次のペアもこみあってきたこともあり短時間のうちに次のコーナーへと向かいました。ゆうくんはどこに行きたいか、けいちゃんにきいたりしています。

絵本コーナーではゆうくんの友達の子供たちがいて冒険の話を読み聞かせています。そこに行きました。でもその読み方がたどたどしいことや絵本の内容にけいちゃんはあまり関心がなさそうに見えます。だんだん男の子たちがその輪の中で盛り上がっていくのに、けいちゃんはその輪からは次第にうしろに後ずさっていています。でもゆうくんが楽しんでいるのを見て、お兄さんが読んでくれているので見ている姿があります。

その後小学生のランドセルや帽子をかぶるコーナーに行きます。けいちゃんは楽しそうです。でも反対に今度はゆうくんは、女の子たちの輪で男子一人で少々手持無沙汰なようです。・・・（以下略）

秋田喜代美・第一日野グループ, 2013, 序章 子どもの声から始まる交流と連携  
保幼小連携一育ち合うコミュニティづくりの挑戦, ぎょうせい, p.xi(筆者修正)

©2015 Hoiku no yume inc.

# [ワーク]

## 卒園までに経験したいことについて語り合おう

準備

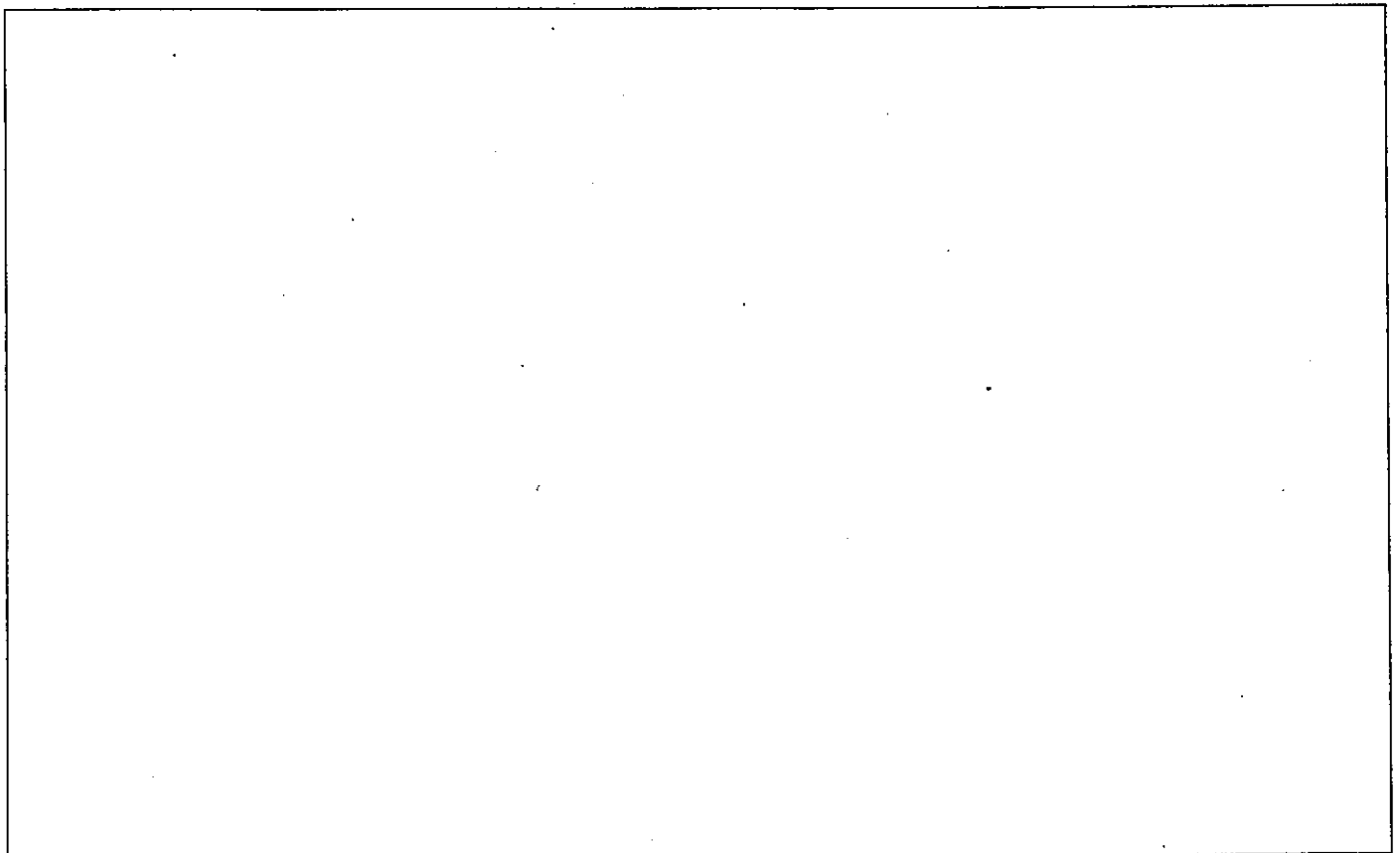
A4用紙 1人1枚

ワーク時間	10分
-------	-----

進め方

- ① 3～4人のグループを作る。
- ② 卒園までに幼児に経験してほしいことを3つ書こう。
- ③ 書いたことを、グループ内で発表し共有する。

© 2016 Huku design inc.



# [ワーク] 家庭との連携

ワーク時間 10分

## 準備

2cm幅の付箋、1人10枚程度  
グループ毎 A3用紙1枚

## 進め方

- ① 3 - 4人のグループを作る。
- ② 家庭との連携するために行っていることや、やってみたいことを考えて、付箋に書こう。
- ③ 書いたことを、A3用紙に貼り出しグループ内で発表し共有する。

© 2016 Field Experience Inst.

